

ニッポンの
美味しいを共に創る

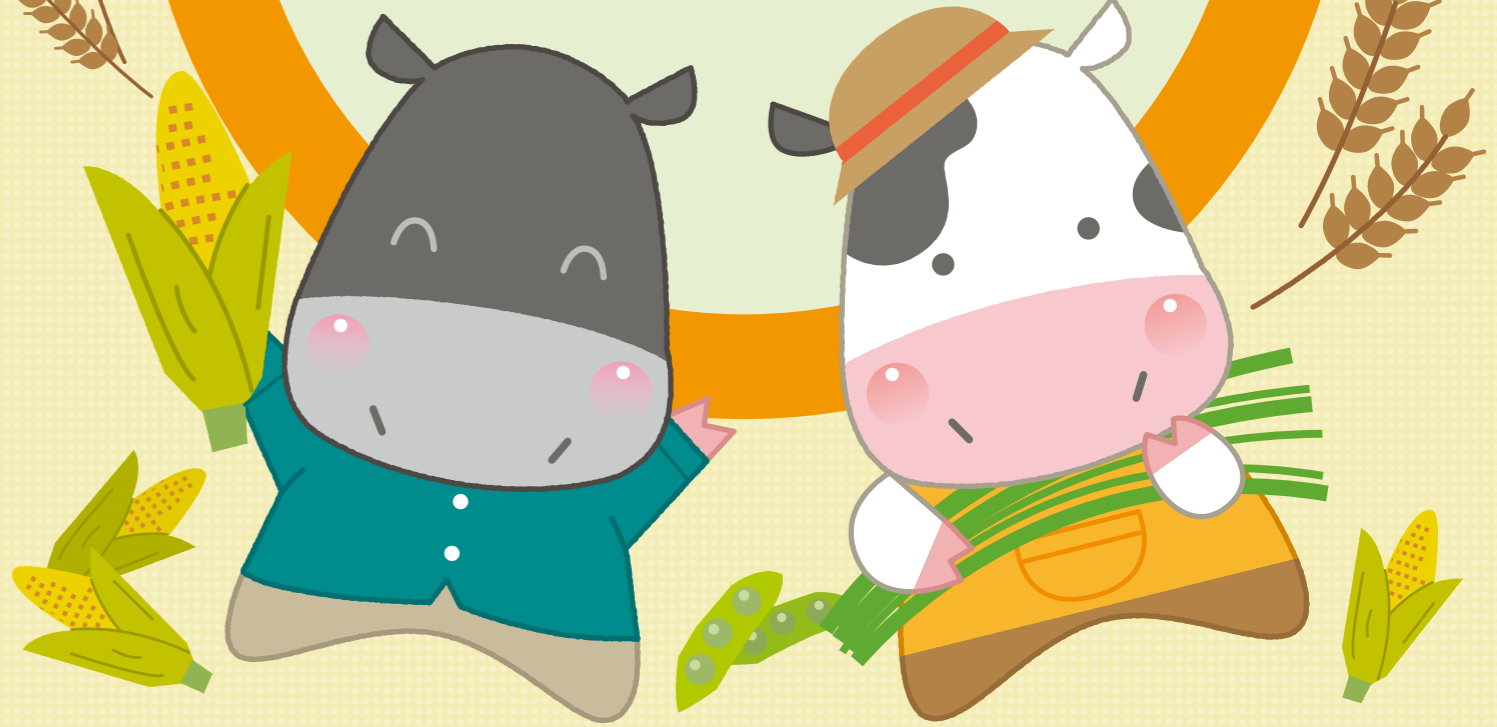
ちくさん クラブ 21

2024
vol. 151



令和7年度は第16基本契約期間（令和7～10年度）の1年目です

- 1 基本契約書兼数量契約書の締結が必要です。
- 2 基本契約の初年度となりますので、別途納付金はかかりません。



ポイント1

補てん金の交付により、飼料価格の急激な上昇を緩和します。

ポイント2

急激な価格変動の際には、生産者の積み立てた金額以上に補てん金が支出されます。

ポイント3

積立金は税務上費用計上（損金扱い）にできるため節税しながら将来に備えて積み立てできます。



鳥インフルエンザの脅威を教訓に 全国初の「農場の分割管理」で先進的経営

有限会社東北ファーム

代表取締役社長:山本 彌一さん
本社:青森県三沢市大字三沢字庭構54-45
従業員数:150人
飼養羽数:117万羽(2024年)
生産量:約1800t/月

HPはこちら



<http://www.touhoku-farm.co.jp/>

農場の東側に
太平洋が見える



鳥インフルエンザ
からの復活を
一緒に学ぼう!



青森県最大規模の採卵養鶏場である三沢市の有限会社東北ファーム。国内で高病原性鳥インフルエンザ(以下、鳥インフルエンザ)が猛威を振るった2022年に、同社も農場の全139万羽を殺処分する創業以来の危機に襲われた。それでも、ショックに沈むことなく「ピンチの裏にチャンスあり」と懸命に供給を続けた。教訓を生かし、衛生対策では全国初の「農場の分割管理」を導入し、今後の危機に備える。自社ブランド卵「味乙女(あじおとめ)」を使ったスイーツなどの加工品販売事業も軌道に乗せ、今年度の売り上げは、鳥インフルエンザ発生前と同程度までV字回復の見込みだ。

青森県

touhoku farm

ニッポンの美味しいを共に創る

ちくさんクラブ 21

2024
vol.151

CONTENTS

- 03 **一生懸命 I (青森県/有限会社東北ファーム)**
鳥インフルエンザの脅威を教訓に 全国初の「農場の分割管理」で先進的経営
- 08 **NEWS 宮城県が6年連続の名誉賞獲得**
第26回全農肉牛枝肉共励会
- 10 **一生懸命 II (高知県/有限会社川淵牧場)**
四国トップクラスの生乳量を誇るメガファーム
- 14 **ET研便り 2023年度版 全農ET研究所の受精卵の移植成績を徹底解剖**
- 16 **教えて!中研 テーマ:冬場を迎えるにあたって**
【肉牛・乳牛】きれいな空気で子牛を健康に!寒い季節の換気の重要性を再確認しましょう!
【養豚】豚舎火災を防ぐ!本格的な冬を迎える前にスタッフ一丸となって火災対策に取り組みましょう!
【養鶏】農場におけるネズミ対策は「入れない・すみ着かせない・増やさない」が基本
- 22 **Dr. ジーアの My カルテ**
豚呼吸器複合病(PRDC)と経済損失について
- 24 **ZEN-NOH 海外レポート 大韓民国**
アフリカ豚熱の発生状況 日本国内への侵入を防ぐためには
- 26 **きてみて!うちの学校(鹿児島県/鹿屋農業高等学校)**
第7回和牛甲子園で最優秀賞
- 30 **NEWS 養鶏業界の気になる話題をまとめて解説**
全農養鶏セミナー2024
- 32 **NEWS 全農酪農セミナー開催のご案内**
- 33 **NEWS 全農養豚セミナー開催のご案内**
- 34 **NEWS 高病原性鳥インフルエンザウイルスについて**
- 36 **豚熱ウイルスへの注意喚起**
- 37 **JACC ネット 肉牛枝肉共励会・子牛市場情報**
- 38 **マーケット情勢**
- 40 **読者の広場**
- 41 **人気記事ランキング**
- 42 **読者プレゼント**
- 43 **ちくさんクラブ 21 公式 LINE 紹介**

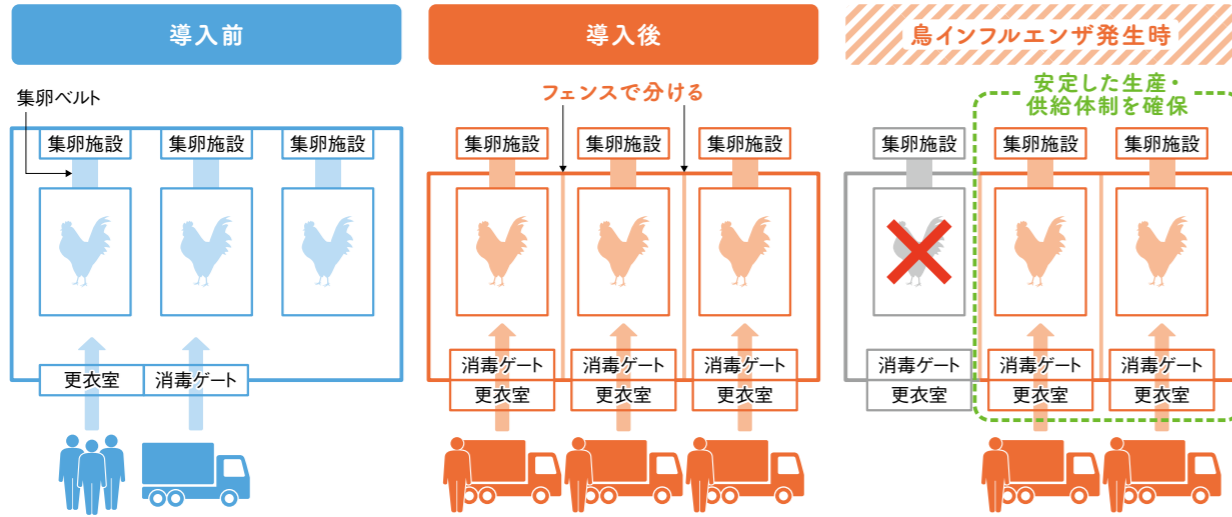


農場の分割管理

メリット

- 特定家畜伝染病（鳥インフルエンザなど）が発生した際に、殺処分の対象を限定できる
- 鳥インフルエンザなどの発生リスクを低減し、鶏卵の安定供給に貢献
- ウイルスの侵入リスクおよび感染拡大の低減、衛生管理の向上につながる

衛生管理が高評価！
新規顧客開拓につながった



創業以来の大ピンチ 仕入れ販売事業が奏功

味乙女 Memo

卵の特徴

鮮やかなオレンジ色の黄身。くせのないあっさりした味わい。

飼育方法

分割管理を取り入れた高レベルの衛生管理

飼料

ビタミンD、Eなどを配合した植物性たんぱく限定の専用飼料など



鶏舎外側に直接つけるトラック

と特定家畜伝染病が発生しても、他の区域は殺処分を避けられ、卵を安定供給できるメリットがある。特に、人や物の出入りが多くなる大規模農場では、施設や飼養管理を区域ごとに完全に分けることでウイルスの侵入リスクを減らし、感染拡大を防ぐ効果が見込める。

ただ、導入には相当の費用がかかる。区域ごとに消毒設備、更衣室、車両などを備える必要があり、区域ごとにフェンスも設置しなければならない。大きな経営判断を強いられたが、「予防には限界がある」と痛感した同社は分割管理の導入を決めた。

当初はマニュアルなどがなく、飼養衛生管理基準と照らし合わせて家畜保健衛生所と相談しながら管理体制の構築を進めた。23年9月に農水省が「農場の分割管理に当たっての対応マニュアル」を策定。同社も独自にマニュアルを作り、国の助成も活用し、同11月から分割管理を

青森県南東部に位置し、東に太平洋を望む三沢市。冬は、北国としては降雪が少ない地域だ。2022年12月、(有)東北ファーム第4農場の鶏舎の鶏の死亡原因が、鳥インフルエンザだと判明したのも、雪のない寒い日だった。1966年の創業から時代の荒波を乗り越えてきた同社も初めて迎えた事態。経営陣が集まった会議室で、社長の山本彌一さん（81）は「今、何ができるかを考えよう」と呼びかけた。

彌一さんの長男で、飼養管理を担当する専務の山本高久さん（52）は「感染対策は万全を期していた。それだけにショックは大きかった」と当時を振り返る。同社は4農場全てでウインドウレス鶏舎を導入して野鳥などの侵入を防ぎ、人の出入り時には消毒を徹底。20年にはJGAP（農業生産工程管理）の認証も受け、衛生管理体制を整えてきた。

殺処分が完了したのは、発生から16日後。1農場で139万羽の処分は国内では過去最多だった。

一度途絶えた販路は簡単には戻らない。喫緊の課題は、取引先に卵を供給し続けることだった。幸いしたが、「生産だけでは何かあった時に対処が難し



生産部
石橋 浩二部長

分割管理の
人員配置に
苦労しました

機械部品や特
を留意。ただ、



山本 高久専務

飼養管理を
担当

始めた。同省のマ
ニユアル策定後初の導入
事例となった。彌一さんは「全国に先駆けて始めることで、他の農場の参考になれば良いという思いもあった」と話す。

今では全国に広がったという。

同社は元々、鶏舎群ごとに卵の選別・包装施設（GPセンター）を分けていたため、3カ所のGPセンターごとに衛生管理区域を設定した。区域ごとに車両や消毒ゲート、機材、重機、服、長靴などを用意。ただ、



山本 彌一社長

鳥インフルエンザ
発生時は
冷静な対応を
心がけました

い」と仕入れ販売事業を始めていたことだった。県内だけでなく、新潟県に開設した営業所もフル稼働させ、供給量を確保した。彌一さんは「事業の拡大へ、仕入れた卵の選別や品質管理などを見直すきっかけにもなった」と話す。

農場の分割管理で備え 新たな顧客獲得も

農場では、再発防止に向け新たな衛生管理方法を検討した。今後の対策として青森県十和田家畜保健衛生所から提案されたのが、農場の分割管理だった。

分割管理は、農場を複数の衛生管理区域に分け、各区域を一つの農場とみなして設備や飼養管理者を独立させる管理方法だ。一つの区域で鳥インフルエンザな

卵の選別・包装施設(GPセンター) 機械化で作業負担を軽減する



機械と人の手を使って
パッキングする



業界初の段ボールを積み上げる
作業専用の機械を開発した



左から、JA全農くみあい飼料株の矢島拓也課長、
南東北ファームの泰裕さん、同品質管理部の高見澤弘明次長、
同第三GPセンター工場長の新館優太さん



より良い生産・
管理へ、
議論を展開

黄身色鮮やかな「味乙女」スイーツ 「おいしい」と「しあわせ」を食卓へ



一番人気のプレミアムカスタードシュー。
コクのあるクリームが自慢!



AJIOTOME SHOP
あおもり駅前店



ここをチェック!

151号では、アンケート回答者の中から
抽選で(有)東北ファームのドーナツが当た
ります!

◀◀ 詳細は42ページへ
店情報もぜひご覧ください。/



ブランドは「味乙女」の名で展開。中心となる卵「味乙女」は、鮮やかなオレンジ色の黄身が特徴だ。くせがなく、味の良い卵を目指してJA全農くみあい飼料(株)と試行錯誤を重ね、ビタミンD、Eなどを配合した植物性たんぱく限定の専用飼料などを開発した。地元のスーパリーとのつながりを重視する戦略で、ブランドを根付かせた。

知名度向上のため、イメージキャラクター「たまご妖精 あじおとめ」をつくり、テレビCM放映、配送用トラックのラッピング、グッズでPRする。17年に完成した総合GPセンターは、作業の全てを2階から一望できるようにし、近隣小学校から見学を受け入れる。自らキャラクターをデザインした泰裕さんは「良いものを作るだけでなく、付加価値を付けて商品の魅力を高めること、そして、いかに知ってもらうかが大事だ」と強調する。

新たな事業の柱としてスイーツなどの加工品を開発。商品は三沢市と青森市の2店舗の直売店「AJIOTOME SHOP」で卵と共に直接販売。24年4

ブランド力を強化 消費者にアプローチ



口コミが広がり来店する人も!

月にJR青森駅の商業施設に新装開店した青森市のおもり駅前店では、「味乙女」を使ったシュークリームやロールケーキなどでブランドをPR。1番人気のプレミアムカスタードシューは毎日完売するほどだ。

青森市内から親子で来店した30代の男性は「評判を聞いて来た。初めて買えてうれしい」と笑顔を見せた。店長を務める販売課の竹本樹里主任は「シュークリームを買いに来た人が、卵と一緒に買っていくことも多い」と話す。

「消費者が求めるものは日々変わっていく。常に新しいものをつくり、挑戦する、養鶏業界のバイオニアでありたい」と話す泰裕さん。一層のブランド力向上へ、次の一手を探り続ける。

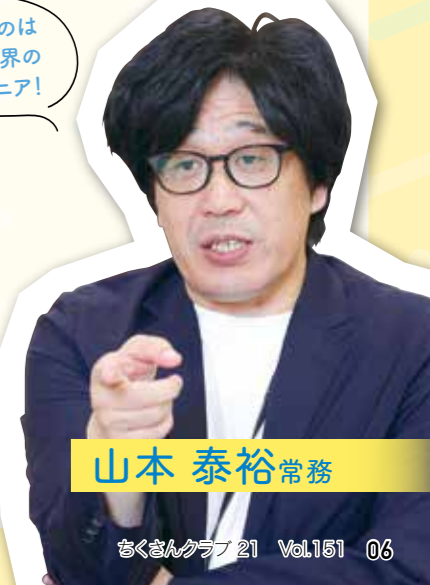
次世代リーダーを育成

一層の規模拡大に向け、同社が重視するのが、人材の定着とブランド力の上昇。人材は地元の若者を積極的に採用し、

特殊機械の倉庫を全てに配置するのは難しいため、やむを得ず共同倉庫などから物品を持ち込む際は消毒を徹底する。従業員の休憩室や堆肥舎も区域ごとに配置し、共同利用を禁止した。飼養管理者は原則として同じ日に区域間の移動はしない。生産部の石橋浩二部長は「一番大変だったのは人の配置でした」と言う。全区域に専属の人員を配置できない中で、同日に区域間で人の移動をせずに管理できるように細かな作業計画が求められた。

効果は意外なところで表れた。全国初の分割管理により衛生管理への意識の高さが評価され、新たな顧客獲得につながった。飼養羽数は24年に117万羽まで回復。売り上げは、23年度に前年度の半分以上に落ち込んだが、24年度にほぼ回復した。彌一さんは「5年後には子会社なども含めて300万羽を目指したい」と意気込む。

目指すのは
養鶏業界の
バイオニア!



山本 泰裕 常務

従業員150人のうち4割が30代以下と若い力が活躍する。JA全農くみあい飼料(株)の矢島拓也課長は「事務所がきれいで福利厚生も充実しており、地元で働きたい人にとって魅力的な存在だ」と話す。高久さんは「社員が楽しめる研修旅行やイベントを通じて会社に対する愛着を持ってもらい、次世代のリーダーに育ってほしい」と期待する。

従業員の負担軽減のため、生産現場では集卵やパッキングの自動化を進める。負担の大きい作業を聞き取り、業界初の自動箱詰め機や段ボールを積み上げる作業専用の機械も開発した。彌一さんの次男でGPセンターを担当する常務の山本泰裕さん(50)は「将来の採用難と規模拡大に備え、少ない人員で生産できる体制が必要。今後は検査機械の精度を高めて検査員の作業量を減らしたい」と展望する。

宮城県が6年連続の名誉賞獲得

第26回全農肉牛枝肉共励会

J A全農は6月28日、東京都中央卸売市場食肉市場で「第26回全農肉牛枝肉共励会」を開催した。全国19都県から338頭が出品され、宮城県・JAみやぎ登米の及川勝さん(54)の出品牛(和牛・去勢)が最高位の名誉賞に輝き、同県勢が6連覇を達成した。和牛去勢の部、和牛雌の部、交雑種の部の最優秀賞は、栃木県勢が3部門を独占した。



購買者は高い歩留基準値を評価 飼養管理の徹底を要請

共励会には、和牛去勢208頭、和牛雌101頭、交雑種29頭が出品された。肉質等級では、和牛去勢の「5」等級の割合が93.8%、和牛雌の「5」等級の割合は91.1%、交雑種の「4」等級以上の割合は62.0%。平均枝肉重量は、和牛去勢586.0kg、和牛雌504.0kg、交雑種625.0kgだった。

審査講評を述べた早瀬政貴審査委員(東京食肉市場株式会社牛肉営業部長)は、和牛去勢の歩留基準値の平均が78.4と全国平均より3ポイント高く、脂肪交雑基準(BMS)ナンバーの平均は

10.7と昨年より0.1ポイント上昇し、「素晴らしい結果」とたたえた。枝肉重量とBMSは正の相関にあり、大きく育てれば格付け成績の向上が期待できると説明。ケガや事故がなく健康に大きく育て、枝肉重量をしっかりと確保することは、肥育経営にとって重要であるとした。

和牛雌については、BMSナンバーの平均が10.5と昨年より0.6ポイント下げているが、「依然として高い数値を維持しており、申し分のない内容」と話した。雌は去勢に比べて脂肪付着が厚くなる特徴があり、格付明細書には記載されない腰の部分の脂肪付着は購買者の評価ポイントなので、無駄な脂肪が付きすぎないように、日ごろの飼養管理に気を付けるように要請した。

交雑種は、雌5頭の平均枝肉重量は昨年より27.2kg減の564.4kg、去勢24頭は15.2kg減の637.9kg。BMSナンバー5以上は62.1%、肉質4等級以上率が62.0%と、それぞれ昨年より19.2ポイント、13ポイント減少しているが、2023年における全国の4等級以上率が25.4%であるので、「全国平均

を優に上回る出品内容であった」と評価した。

細部に至るまで脂肪交雑が充実 美しさとまとまりの良さを兼ね備

名誉賞を受賞した及川勝さんの出品牛は、父が「勝早桜5」、母の父が「美国桜」、母の祖父が「百合茂」。枝肉重量は590kg、BMSナンバー12、ロース芯面積99cm²、バラの厚さ10.4cm、皮下脂肪の厚さ1.8cm、歩留基準値80.2。ロース芯の形状や僧帽筋、広背筋といったかぶりの厚み、また腹筋を含めた筋肉構成のバランスの良さがうかがえ、「美しさと全体のまとまりの良さを兼ね備えた、まさに名誉賞にふさわしい仕上がり」と高評価を受けた。



J A全農から表彰される及川勝さん(左)と畜産総合対策部の佐藤勸次長(右)

名誉賞

及川 勝さん
宮城県 JAみやぎ登米

子牛を購入するときは血統や皮膚の状態、体型など注目する点がありますが、なんといっても「よく食べる」牛であることが重要だと思っています。しかし、よく見ても導入した後で食べない牛もいるので、今回はきめ細かな管理を徹底できたのが良かったのだと思います。



**最優秀賞
和牛去勢の部**

佐藤 和徳さん
栃木県 JAなすの

繁殖から肥育まで家族経営でやっています。私と息子の2人が担当していて、2年前(第24回)は優秀賞を受賞しました。あともう一步のところで最優秀賞を逃したので、今回の受賞はとてうれしいです。

審査講評

父「美津金幸」、母の父「安福久」、母の祖父「百合茂」。BMSナンバー12、ロース芯面積101cm²、歩留基準値79.5。体型、モモ抜けなど名誉賞に勝るとも劣らない枝肉。

**最優秀賞
和牛雌の部**

近藤 毅さん
栃木県 JAおやま

かつては宮城県で子牛を購入していましたが、血統や目指すべき肉質を見直し矢板家畜市場に戻って購入したのが奏功しました。受賞牛は佐藤和徳さんが育成した子牛です。

審査講評

BMSナンバー12、肉の色沢(BCS)ナンバー4、切開面の充実した脂肪交雑に加え、モモ抜けの良さを評価。雌らしい品の良い体型で、綺麗な枝肉であった。

**最優秀賞
交雑種の部**

手塚 正さん
栃木県 JALおのや

血統や体型など将来性を考えてヌレ子を選定し、ストレスを与えないように基本に忠実な飼養管理を徹底しています。また、夏場のビタミンAコントロールなど、季節の環境条件に合わせた対策も心掛けました。

審査講評

交雑らしい体型だが、モモの肉付きが充実しており、モモ抜けの良さが評価された。筋間や皮下脂肪には無駄がなく、バランスよく脂肪交雑が入っていた。

第26回「全農肉牛枝肉共励会」入賞者一覧

| 褒賞 | 産地 | 出品者名 | 肥育期間 | 品種 | 性別 | 血統 | | | 枝肉重量(kg) | 格付 | 枝肉単価(円) | 歩留基準値 | BMS |
|------|----|-------------|------|----|----|--------|-------|------|----------|----|---------|-------|-----|
| | | | | | | 父 | 母の父 | 母の祖父 | | | | | |
| 名誉賞 | 宮城 | 及川 勝 | 29 | 和 | 去勢 | 勝早桜5 | 美国桜 | 百合茂 | 590 | A5 | 8,007 | 80.2 | 12 |
| | 栃木 | 佐藤 和徳 | 30 | 和 | 去勢 | 美津金幸 | 安福久 | 百合茂 | 573 | A5 | 5,037 | 79.5 | 12 |
| 最優秀賞 | 栃木 | 近藤 毅 | 33 | 和 | 雌 | 美国白清 | 諒太郎 | 百合茂 | 439 | A5 | 5,054 | 79.2 | 12 |
| | 栃木 | 手塚 由美 | 29 | F1 | 交 | 北美津久 | - | - | 664 | A5 | 2,584 | 72.0 | 10 |
| 優秀賞 | 岩手 | (株)高田畜産 | 31 | 和 | 去勢 | 安亀忠 | 福華1 | 安福久 | 610 | A5 | 2,903 | 83.2 | 12 |
| | 栃木 | (同)早乙女ファーム | 28 | 和 | 去勢 | 秋忠平 | 美国桜 | 安福久 | 634 | A5 | 2,901 | 81.4 | 12 |
| | 宮崎 | (株)吉岐ファーム | 27 | 和 | 去勢 | 耕富士 | 百合茂 | 安福久 | 524 | A5 | 3,124 | 79.9 | 12 |
| | 宮城 | 佐々木 敏朗 | 34 | 和 | 雌 | 竜見桜 | 安福久 | 第1花園 | 558 | A5 | 3,208 | 79.5 | 12 |
| | 茨城 | (有)和洋茨城牧場 | 25 | F1 | 交 | 北美津久 | - | - | 571 | A5 | 1,903 | 76.0 | 10 |
| 優良賞 | 宮城 | 千葉 哲雄 | 30 | 和 | 去勢 | 福之姫 | 安福久 | 勝忠平 | 576 | A5 | 3,148 | 80.0 | 12 |
| | 福島 | 遠藤 峰雄 | 31 | 和 | 去勢 | 幸紀雄 | 美国桜 | 百合茂 | 582 | A5 | 3,000 | 80.4 | 12 |
| | 栃木 | シノザキ牧場 | 30 | 和 | 去勢 | 福之姫 | 安福久 | 百合茂 | 692 | A5 | 2,707 | 79.1 | 12 |
| | 栃木 | (同)たむら畜産 | 31 | 和 | 去勢 | 紀多福 | 安福久 | 平茂勝 | 606 | A5 | 2,800 | 80.9 | 12 |
| | 石川 | 平林 恵美子 | 31 | 和 | 去勢 | 福之姫 | 幸紀雄 | 安福久 | 731 | A5 | 2,688 | 82.6 | 12 |
| | 鳥取 | 野儀 弘子 | 27 | 和 | 去勢 | 白鵬85の3 | 百合白清2 | 安福久 | 571 | A5 | 2,949 | 81.9 | 12 |
| | 茨城 | (有)高萩畜産 | 30 | 和 | 去勢 | 福之姫 | 安福久 | 平茂勝 | 625 | A5 | 3,012 | 79.8 | 12 |
| | 山形 | 片倉 雄一 | 33 | 和 | 雌 | 知恵久 | 福増 | 美国桜 | 500 | A5 | 2,781 | 84.0 | 12 |
| | 三重 | なかお畜産(株) | 32 | 和 | 雌 | 福之姫 | 幸紀雄 | 安福久 | 487 | A5 | 3,883 | 78.0 | 12 |
| | 佐賀 | 中山牧場(株)上場農場 | 30 | 和 | 雌 | 知恵久 | 福之姫 | 忠富士 | 518 | A5 | 3,112 | 80.4 | 12 |
| | 宮崎 | (有)アグテック | 30 | 和 | 雌 | 白鵬 | 美国桜 | 安平照 | 558 | A5 | 3,141 | 81.2 | 12 |
| | 茨城 | 中村 浩幸 | 28 | F1 | 交 | 花勝久 | - | - | 654 | A5 | 1,902 | 73.2 | 8 |



高知県高知市
川渕牧場
一生懸命
II

HISTORY

すべてはここから
始まった

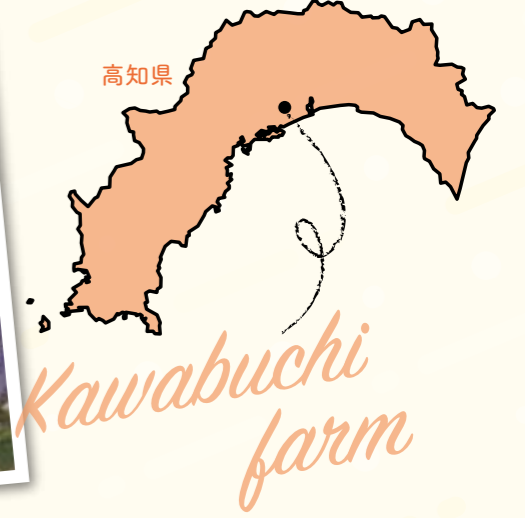


- 1972年 7頭で起業
- 1977年 60頭牛舎を建築
- 1993年 120頭牛舎を建築
- 2001年 法人設立
- 2005年 32枠のロータリーパーラーとともに480頭規模のフリーバーン牛舎を建築
- 2024年 4台のロボット搾乳機を備えた240頭規模のフリーストール牛舎を建築

乳量・乳質に影響する ストレスを可能な限り 排除した医食住を提供



四国トップクラスの 生乳量を誇るメガファーム



力を感じた」と説明する。さらに、
断したため」と話す。「果樹栽培と違っ
て従業員を年間雇用できる点も魅
栽培よりも安定した収入が期待でき、施
設を増やすことで規模拡大ができる」と判

安定収入と規模拡大が 期待できる畜産業

正明さんは「酪農家を志したのは果樹
栽培よりも安定した収入が期待でき、施
設を増やすことで規模拡大ができる」と判
断したため」と話す。「果樹栽培と違っ
て従業員を年間雇用できる点も魅
栽培よりも安定した収入が期待でき、施
設を増やすことで規模拡大ができる」と判

(有)川渕牧場は、高知市の中心部から車
でわずか15分ほど離れた中山間地域にあ
る。1972年、梨農家の次男として生
まれた取締役会長の川渕正明さん(72)
が、20歳の時に乳牛7頭から始めた。牧
場立ち上げの5年後に60頭、1993年
には120頭まで搾乳頭数を増やした。
2005年には四国で唯一となる32枠の
ロータリーパーラーとともに480頭規
模のフリーバーン牛舎を新築。2024
年春からは、4台のロボット搾乳機を備
えた240頭規模の新築フリーストール
牛舎での生産も始まっている。

現在の飼養頭数は乾乳牛を含めた経産
牛が約650頭。育成牛は北海道の取引
先へ年間120頭ほど預託している。基
本的には自家産での増頭に努めている
が、さらに初妊牛を150頭ほど導入す
る計画があるという。



息子、孫と一緒に
働けて嬉しいよ

き、つなぎ牛舎の経験しかな
い私がやるのではなく、息子

川渕 正明 会長

高知県で生産される生乳のおよそ4分の1を出荷する有限
会社川渕牧場。1972年に乳牛7頭で創業し、半世紀経た
ずに四国でトップクラスの年間出荷乳量4500tを誇るメガ
ファームへと成長。ロボット搾乳機やストレスの少ない牛舎を
いち早く導入し、規模を拡大した。持続可能な開発目標(SD
Gs)という考え方が普及する以前からエコフィード(食品残
さから製造された飼料)や環境対策に取り組んできた同社。
親子3代で運営する牧場は、常に時代の先を見据えている。

有限会社 川渕牧場

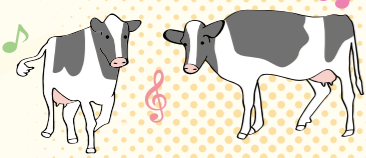
代表取締役:川渕容史さん
本社:高知県高知市針木西1323
従業員数:20人
飼養頭数:乾乳牛を含めた経産牛が約650頭。育成牛は
北海道の取引先へ年間120頭ほどを預託
年間出荷乳量:4500t



HPIはこちら
<https://kawabuchi-bokuiyo.com/index.html>

年間出荷乳量からすると
高知県の5人に1人は
川渕牧場の牛乳を飲んでいる
計算になるヨ!





運営方針を実現するための設備、取り組み(一部抜粋)

ロータリーパーラー



四国で唯一のロータリーパーラー。
1日2回搾乳を実施。1周およそ10分

ロボット給餌機



フリーストール牛舎に設置されたロボット給餌機

エコフィード



(上)工場の製品検査ではねられた規格外のポップコーン。塩などが添加される前の状態のものを引き取って、コーンの皮がないため消化されやすい。(下)しょうゆの製造工程で発生する搾りかす

排水の浄化



浄化槽



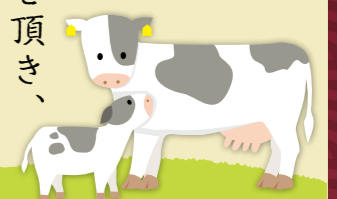
糞便が混ざった排水をこの施設に集め、搾って繊維質と水に分離する



搾り出した便の繊維

運営方針

私たちは、医食住のサービスを提供することでお客様(乳牛)から対価(牛乳)を頂き、快適な毎日を約束します！



ロボット搾乳機



ロボット搾乳機を備えたフリーストール牛舎。各所に監視カメラを設置し、モニターでチェックする



乳牛は大切なお客様 快適な空間づくりを優先

現在の運営方針である「乳牛は家族の一員ではなく、大切なお客様」という考えは、容史さんが酪農について学ぶ過程で得た気付きを言語化したものだ。「私たちの経営は牛からいただいた生乳で成り立っており、私たちが何かを作り出しているわけではない」と、容史さんは断言する。その上で、「私たちはただのサービスマンで、お客様(乳牛)に快適な医食住のサービスを提供するのは当たり前。このように考えると、我々が知識や技術を磨く必要が自然と理解できるとし、従業員教育としても分かりやすいと胸を張る。

その運営方針通り、乳牛が快適に過ごせる空間づくりを優先してきた。24年稼働の搾乳ロボット牛舎は、設計の段階で快適性を重視し、暑い夏でも過ごしやすい環境を実現している。

飼料の4割がエコフィード

同社は、牧場設立時から積極的にエコ

現在は、これらのエコフィードと輸入乾牧草、配合飼料を組み合わせたメニューを採用している。JA全農くみあい飼料(株)の担当者は「私たちの飼料は全体を整える背骨のような存在。だからこそ品質を変えないことに気を付けている」と話す。

環境負荷低減の取り組み

(有)川淵牧場は23年7月から施設内浄水場を稼働する。補助金に頼らず、独自に建設した。排水処理の前段階として、糞便が混ざった施設内の排水を機械で搾り、繊維質と水に分離する。繊維混じりの排せつ物は堆肥化し、近隣の農家や住民に無料で配っている。一方、分離した水は浄化槽でろ過し、きれいにした状態で施設外へ排水する。ろ過工程を重ねることで、茶色く濁った水も透明になり、臭いも気にならないレベルまで浄水できるといふ。

選ばれる職場環境づくり

2023年には容史さんの長男である貴矢さん(25)が就農。正明さんは孫と働けることを喜んだ。貴矢さんは、搾乳ロボット牛舎の管理を担当する。牛にとって快適な環境をつくと同時に、将来的

飼料の品質を確認する川淵貴矢さん(左)とJA全農くみあい飼料(株)の担当者

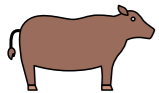


フィードを取り入れてきた。耕作地を持たずに自給飼料を一切栽培していない同社にとって、安定的に入手できるエコフィードの存在は経営的にも重要な位置付けにある。正明さんは、食品を扱う企業や工場などに電話をかけて地道な交渉を続けてきた経験から、「職業別電話帳が私の飼料畑だった」と打ち明ける。その結果、取引先は少しずつ増えていき、現在は飼料全体の4割をエコフィードが占めるようになった。高知市内の工場から発生する規格外のポップコーンは量や品質に優れ、飼料として申し分ないという。他に、しょうゆ、みかんジュースなどの搾りかす、おからなど、使用する品目は多岐にわたる。搾りかすは取引先がサイレージ化することで、年間を通して安定した品質の飼料を給与することが可能になった。

には従業員に担当してもらえるようにオペレーションの最適化に取り組んでいる。貴矢さんは「牛飼いの経験は未熟だが、この牧場を就職先に選んでもらえるような環境にしていけるのが目標。今は正直若い人たちの選択肢に一次産業は入っていない。それを変えたい。ロボットは新しい酪農のイメージをつくるチャンスだと思つ」と意気込みを語る。また、「現在働いている従業員20人の雇用環境をさらに良くしていきたい」と話す。牛だけでなく従業員の職場環境を、誰もがうらやむくらい向上させることが、同社が今後も躍進するために必要だと考えている。正明さんから始まった酪農への道は、息子の容史さん、孫の貴矢さんに受け継がれた。(有)川淵牧場の親子3代の挑戦はこれからも続く。

若い人にも働きたいと思っていただけるような会社になります！





2023年度版 全農ET研究所の 受精卵の移植成績を徹底解剖

全農ET研究所は本場と3分場からなり、各拠点で日々、採卵および受精卵移植の業務を行っています。今号では、2023年度における受精卵の移植成績について紹介します。

全移植成績(表1)

2023年度の1年間で、8,176頭に移植を実施し、受胎率は56.4%でした。ここから先は、色々と場合分けをしながら、ひも解いていきます。

表1 全移植成績

| 移植頭数(頭) | 受胎率(%) |
|---------|--------|
| 8,176 | 56.4 |

品種および産歴別の 移植成績(表2)

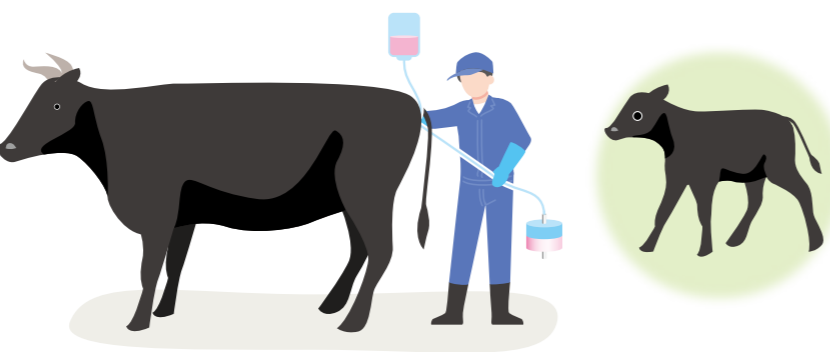
移植する牛は、ホルスタイン種や交雑種から、ジャージー種やブラウンスイス種、はたまた闘牛まで多岐に渡ります。

最も移植頭数が多かったのはホルスタイン種で6,671頭に実施し、受胎率は未経産牛が62.5%、経産牛が49.7%でした。黒毛和種の移植頭数は768頭で、受胎率は未経産牛が56.2%、経産牛が51.9%。交雑種は683頭で、受胎率は未経産牛が68.3%、経産牛が61.1%でした。

表2 品種および産歴別の移植成績

| | ホルスタイン種 | | 黒毛和種 | | 交雑種 | | 乳用種 | | 肉用種 | |
|---------|---------|-------|------|------|------|------|------|------|-----|------|
| | 未経産 | 経産 | 未経産 | 経産 | 未経産 | 経産 | 未経産 | 経産 | 未経産 | 経産 |
| 移植頭数(頭) | 2,908 | 3,763 | 168 | 600 | 347 | 336 | 19 | 27 | — | 8 |
| 受胎率(%) | 62.5 | 49.7 | 56.2 | 51.9 | 68.3 | 61.1 | 63.2 | 50.0 | — | 75.0 |

※乳用種はジャージー種やブラウンスイス種、肉用種は褐毛和種や闘牛を、それぞれ含む



一般的に、未経産牛に比較して経産牛では受胎率が低下します。各畜種の経産牛に対する移植傾向については、ホルスタイン種では種付行為を複数回しても受胎しないリピートブリーダーも多く、移植対象となっています。また、昨年の猛暑や飼料代高騰など、経産牛の繁殖環境が悪化する中、良好な受胎率だったと考えます。

黒毛和種では、繁殖成績の良い高齢牛への移植が中心で、主に血統更新に活用されています。このことから、未経産牛に比べ経産牛でも大きな受胎率低下は認められませんでした。

交雑種は例年、受胎率が高位安定しており、繁殖性の良さがうかがえます。なお、経産牛は2卵移植が一定数を占める

ため、受胎率の引き上げに影響を与えたと考えられます。

受精卵種類別の 移植成績(表3)

ET研究所では、体内新鮮卵の特徴である「高受胎性」を生かすため、採卵に合わせて移植を実施し、新鮮卵を最大限に活用しています(シンクロET)。23年度は、凍結卵の移植頭数が2,359頭で受胎率48.9%に対し、新鮮卵が5,037頭で59.9%と、受胎率向上に寄与しました。日本家畜人工授精師協会が発刊する機関誌24年7月号によると、体内受精卵の受胎率は51.1%*で、ET研究所の新鮮卵利用による効果が表れています。

※公表資料では新鮮/凍結の区分なし

表3 受精卵種類別の移植成績

| | 体内 | |
|---------|-------|-------|
| | 新鮮 | 凍結 |
| 移植頭数(頭) | 5,037 | 2,359 |
| 受胎率(%) | 59.9 | 48.9 |



表4 月別の移植成績(新鮮卵利用)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 移植頭数(頭) | 669 | 495 | 532 | 481 | 337 | 619 | 272 | 369 | 246 | 323 | 469 | 225 |
| 受胎率(%) | 60.8 | 61.7 | 58.8 | 54.7 | 63.9 | 56.7 | 63.6 | 61.5 | 63.4 | 57.8 | 61.2 | 57.9 |

月別の移植成績

年々暑さが増し、北海道でも40度近くまで気温が上昇することもあり、もはや日本国内では暑熱ストレスを避けられない環境になりました。特に、ホルスタイン種経産牛への人工授精の受胎率は大きく低下しています。

ポイント 新鮮卵の受胎率
55~64%と好成績

暑熱ストレスは受精卵の卵割を阻害することが知られており、人工授精の受胎率を低下させる大きな要因となっています。しかし、受精卵移植の場合は、発育した受精卵を子宮内に移植するため、暑熱ストレスによるダメージを避けることが可能となります。その結果、特に新鮮卵移

植では、時期を選ばず55%~64%の受胎率で推移しました(表4)。

まとめ

こういった点からも、受胎に困っている牛には、特に暑熱下では受精卵移植(特に新鮮卵)を活用してみてもいいのではないでしょうか。ET研究所では、1年を通じて各地で採卵していますので、新鮮卵の利用を検討される方は、気軽に問い合わせください。

連絡先

受精卵の血統や価格についての詳細は、こちらに問い合わせください。

電話 01564-2-5811

FAX 01564-2-5813

メール zz_zk_etc_kamishihoro@zennoh.or.jp

写真 シンクロETの様子



案内

ET研究所は、体外受精に用いる培地や凍結液の改良、受精卵のゲノミック評価卵子のガラス化保存法など、さまざまな技術開発にも取り組んでいます。こちらの取り組みにつきましても、今後生産者の皆様に紹介していきたいと思っています。

全農ET研究所の
紹介動画



肉牛 乳牛 きれいな空気で子牛を健康に！ 寒い季節の換気の重要性を再確認しましょう！

寒い季節には保温のために牛舎を閉め切ることもあると思います。しかし、閉め切った牛舎内には、肺炎など呼吸器疾患の原因となる、目には見えない微生物が大量に浮遊している可能性があります。今回は、家畜衛生研究所主導のもと2022年度から23年度にかけて笠間乳肉牛研究室の哺育牛舎で調査した、空中浮遊細菌濃度と呼吸器疾患との関係について紹介します。冬場の換気の重要性を再認識しましょう。

笠間乳肉牛研究室

はじめに

今年もまた寒い季節がやってきます。冬になると、牛舎の扉やカーテンを閉め切って保温する生産者もいます。実際に笠間乳肉牛研究室でも、冬場は気温が氷点下まで下がることが多いので、凍結防止と保温のため、夜間は一部の牛舎を閉め切って対応しています。

しかし、ずっと閉め切ったままの牛舎内の空気の状態はどうなるでしょうか？ またその空気を吸って過ごす牛たちへの影響はどうでしょうか？

その疑問に答えるため、笠間乳肉牛研究室の哺育牛舎にて、牛舎内の空気をサンプリングし、空中に浮遊する細菌の濃度を調査する試験を実施しました。この試験は、本誌の連載記事「Dr.ジニアのMyカルテ」でおなじみの、JA全農家畜衛生研究所が主導して行いました。

空中浮遊細菌濃度の調査試験を実施

今回の試験は、笠間乳肉牛研究室の哺育牛舎のうち、哺乳中の子牛をカーフハッチで個別飼養する牛舎1カ所(A舎)と、離乳後の子牛を群で飼養する牛舎2カ所(B舎、C舎)の計3牛舎にて、2022

年10月から23年8月まで毎月行いました。

調査項目として、牛舎を閉め切った状態の午前と牛舎を開放した状態の午後の1日2回、各牛舎内の複数地点から「エアサンプラー(写真1)」を用いて空気をサンプリングし、それを培地で48時間培養して空中浮遊細菌濃度を測定しました。

また、測定月の各牛舎の発熱や呼吸器疾患による治療頭数を記録しました。



写真1 使用したエアサンプラー (バイオメリュール・ジャパン「AIR IDEAL® 3P®」)

牛舎開放前後で空中浮遊細菌濃度の違いが判明

図1には各牛舎での午前と午後の空中浮遊細菌濃度の測定結果を示してい

ます。いずれの牛舎も、閉め切った状態の午前において空中浮遊細菌濃度が高く、それだけ多くの微生物が空气中を漂っていたことがわかります。

一方、牛舎を開放し換気した午後には、空中浮遊細菌濃度が午前と比べて減少しました。牛舎ごとの換気効率の違いにより減少量に差はありましたが、いずれの牛舎でも換気によって空气中に浮遊する細菌を減らせることが示されました。

空中浮遊細菌濃度と疾病治療頭数に正の相関

次に牛舎の空中浮遊細菌濃度と、調査した月における発熱や呼吸器症状による延べ治療頭数との関係について測定しました。

その結果、哺乳中の若齢子牛が飼養されているA舎では、空中浮遊細菌濃度と治療頭数に正の相関が見られました(図2)。

このことは、空中浮遊細菌濃度が増加するにつれて、若齢子牛の呼吸器疾患が増え治療頭数が増加する、ということを表しています。実際に、牛舎内で特に空中浮遊細菌濃度が高い地点では、子



図1 各牛舎の開放前後の空中浮遊細菌濃度の比較

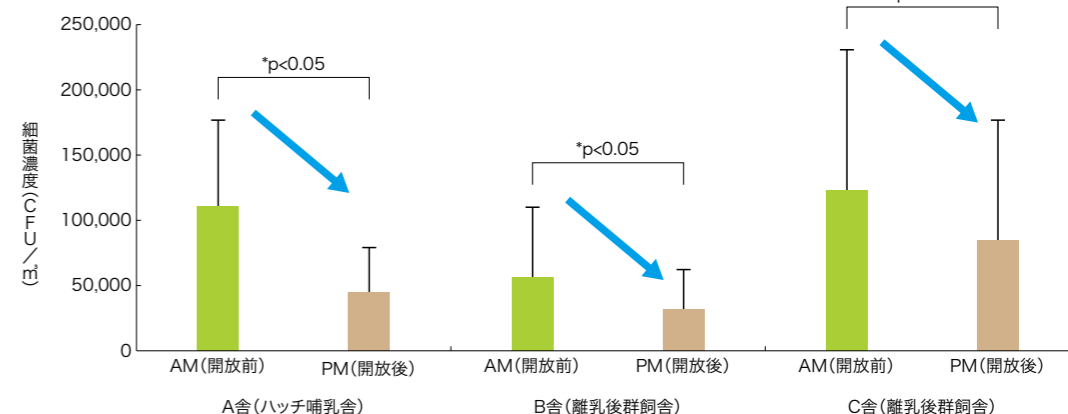


図2 A舎における空中浮遊細菌濃度と測定月の延べ治療頭数の関係

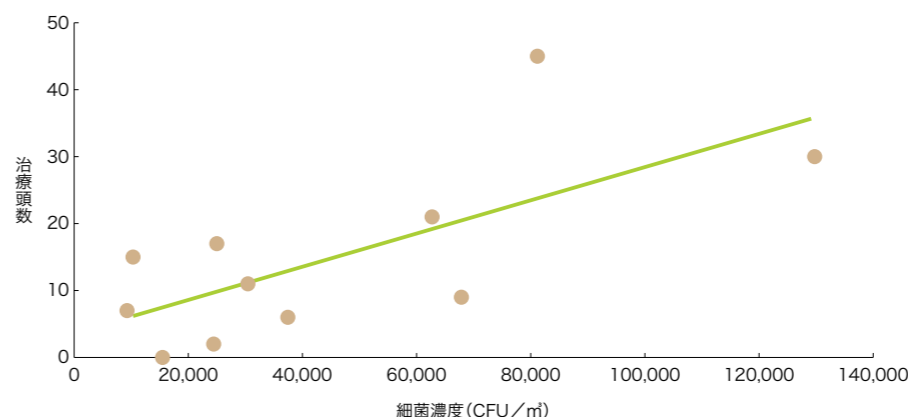


写真2 牛舎の開放例

牛鼻汁からの呼吸器疾患原因菌の検出率が高くなる傾向が見られ、空中浮遊細菌濃度は呼吸器疾患の陽性率と関連があると考えられました。

まとめ

ポイント 寒い季節も適切に換気し、きれいな空気で子牛を健康に!

呼吸器疾患は子牛の病傷事故の約半分を占めるとされ、罹患すると発育に長期的な悪影響を及ぼすだけでなく、治療

にかかるコストや作業負担も増大し、経済的な損失が大きくなることはご承知のとおりです。

今回の調査試験により、牛舎を閉め切った状態では、空中浮遊細菌濃度が増加することがわかりました。また特に若齢子牛では、空中浮遊細菌濃度の増加が疾病治療頭数の増加に直結することも示されました。一方で、牛舎を開放して適切に換気することで、空中浮遊細菌濃度を大幅に低下させることができ

ました。

これからの季節、人も牛も寒いから……とずっと牛舎を閉め切った状態にいませんか？ 比較的暖かい日中は牛舎を開放する、あるいは牛に直接冷風が当たらないように牛舎上部のカーテンのみ常時開けておく、といった工夫を試してみてください(写真2)。適切に換気を行うことで、牛舎内に浮遊する“見えない敵”を追い出し、寒い季節も牛が元気に過ごせる環境づくりを心掛けましょう!



豚舎火災を防ぐ！ 本格的な冬を迎える前にスタッフ一丸となって 火災対策に取り組みましょう！

豚舎での火災は、大きな喪失感を伴う甚大な経済的被害を引き起こします。大変痛ましいことですが、毎年のように豚舎火災が発生していることも事実です。さらに空気の乾燥する冬場は、リスクがより高まると考えられます。リスクを完全になくすことはできませんが、今回は火災を防ぐための基本的な対策を紹介します。 養豚研究室

過去の火災発生事例

2021年から24年に報道された、豚舎における火災発生事例を表1にまとめました。いずれのケースも被害が甚大であることが確認できます。また季節と地域を問わず発生していますが、10月から3月にかけての半年間において特に多いようです。これは、暖房器具を使用する季節であることに加え、空気が乾燥していることが影響していると考えられます。そのため、これからの季節は火災対策

により一層力を入れる必要があると言えます。

主な火災発生要因と対策

主な火災発生要因とその対策ポイントを下記および表2にまとめました。

①暖房器具

暖房器具(ヒーター)は主要な出火要因の一つです。ガスブレンダー、コルツヒーターをはじめとした各種ヒーターの使用に際しては、可燃物への引火を防ぐことが大切です。特に、昨冬以来使用し

ていなかったヒーターなどは、機器の状態をよく確認してから使用しましょう(写真1)。

②電気配線

電気系統の配線にも注意が必要です。前述の火災発生事例の中には漏電やトラッキング現象*により出火したと考えられるケースもありました。普段の作業で見慣れてしまい問題点に気が付きにくい可能性がありますので、改めて表2のポイントを見直してみましょう。いずれも漏電とトラッキング現象を避けることが重要です。また配線を屋根裏など普段目につきにくいところに通している場合、気付かないうちに配線が劣化している可能性があります。月に1度程度は点検、確認することがベターです。

※トラッキング現象(写真2、3)

コンセントとプラグの間に^{じんあい}塵埃がたまり、そこに湿気が加わることで電極間がショートし発熱・発火する現象。漏電とは異なるため漏電ブレーカーは作動しない。

③ネズミによる配線への食害

ネズミによる配線への食害は漏電につながり、火災発生の要因となることがあります。特に冬場の豚舎は暖かく、餌



写真1 埃をかぶった暖房器具



写真2 外れかかったプラグ



写真3 目につきにくい位置にある蜘蛛の巣が張った配線

も豊富にあるためネズミの侵入が増えることが考えられます。

また当然ネズミは衛生面においても好ましくありません。改めて、表2記載の項目をはじめとした対策を徹底しましょう。また、ネズミ対策については『ちくさんクラブ21』22年10月号で紹介しているので、こちらも参考にしてください。

教えて！中研(養豚)
豚舎内におけるネズミ対策
『ちくさんクラブ21』
22年10月号

設備による対策

火災対策として比較的導入しやすいと考えられる設備を表3に記載しました。可能な範囲で導入を検討してください。

以上、豚舎火災の基本的対策を紹介しました。最も大切なことは、スタッフ一人一人が防災意識を高めて業務にあたることだと思います。本格的な冬を迎える前に、スタッフ一丸となって火災対策に取り組みましょう！

表2 主な火災発生要因とその対策ポイント

| ① 暖房器具 | |
|--------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 使用前に埃を掃除する |
| <input type="checkbox"/> | 周囲に燃えやすいものを置かない |
| <input type="checkbox"/> | 吊り下げ器具の劣化(さびなど)の有無を確認する |
| <input type="checkbox"/> | ガス管の劣化(硬化、穴あきなど)の有無を確認する |
| <input type="checkbox"/> | 器具を豚が触れられる高さに設置しない |
| ② 電気配線 | |
| <input type="checkbox"/> | タコ足配線は避ける |
| <input type="checkbox"/> | コンセントにプラグをしっかり差し込む(外れかかったままにしない) |
| <input type="checkbox"/> | 使わない製品のプラグはコンセントから外す |
| <input type="checkbox"/> | 痛んだり破損したりしたコードは使用しない |
| <input type="checkbox"/> | 洗浄作業等で水を使用する場合、電気系統が水濡れしないよう考慮する |
| ③ ネズミによる配線への食害 | |
| <input type="checkbox"/> | ネズミの隠れ場所を無くするため、作業場を整理整頓する |
| <input type="checkbox"/> | 豚舎への侵入経路(壁の穴等)を修復する |
| <input type="checkbox"/> | ネズミの隠れ場所となる豚舎周りの雑草を刈る |
| <input type="checkbox"/> | ラットサイン(糞などのネズミの痕跡)を確認し、適切な場所に捕獲罠を設置する |

※当然、これらの項目がすべてではないですが、代表的なものを取り上げました

表1 過去の火災発生事例(2021年1月~24年3月、インターネット調べ)

| 年 | 月 | 地域 | 被害頭数 | 建物被害 |
|------|----|------|-----------|---------------|
| 2021 | 1 | 北海道 | 2800頭(子豚) | 豚舎1棟 |
| | 3 | 青森県 | 200頭(子豚) | 不明 |
| | 5 | 栃木県 | 6000頭(子豚) | 豚舎6棟全焼 |
| | 9 | 群馬県 | 1040頭 | 豚舎1棟全焼 |
| | 10 | 宮城県 | 1300頭 | 豚舎1棟全焼 |
| 2022 | 11 | 岩手県 | 3200頭 | 豚舎2棟全焼 |
| | 2 | 宮崎県 | 2500頭 | 不明 |
| | 3 | 岩手県 | 7700頭 | 豚舎5棟全焼 |
| 2023 | 3 | 千葉県 | 800頭 | 豚舎1棟全焼 |
| | 7 | 栃木県 | 1300頭 | 豚舎1棟全焼 |
| | 7 | 千葉県 | 不明 | 豚舎2棟全焼 |
| 2024 | 12 | 新潟県 | 1600頭 | 豚舎3棟全焼 |
| | 2 | 新潟県 | 2850頭 | 豚舎1棟分と渡り廊下の一部 |
| | 3 | 鹿児島県 | 750頭 | 豚舎2棟、餌タンク5基全焼 |

表3 火災対策で比較的導入しやすい設備

| 設備 | 特徴・確認事項 |
|----------------------|--|
| 防水LED蛍光灯 | 洗浄作業などによる水濡れが原因の漏電を防止 |
| コンセントキャップ | 使用していないコンセントへの塵埃の蓄積を防止し、トラッキング現象を回避 |
| 消火器、 火災報知器(消防用設備) | 消火器は設置台数が適切か、定期点検が実施できているかを確認 畜舎への火災報知器の設置は原則不要とされているが、執務室または保管庫の規模が一定以上の場合設置が必要となる (参考: https://www.fdma.go.jp/mission/prevention/items/prevention001_21_chikusya.pdf) |



農場におけるネズミ対策は「入れない・すみ着かせない・増やさない」が基本

農場におけるネズミの存在は、各種病原体の伝播のみならず、生産者にさまざまな経済的損失をもたらします。鶏舎では飼料や水が常に摂取でき、鶏が就寝する消灯時間帯は、夜間に活動するネズミには生息しやすい環境となっています。特に冬場は、暖かさや食料を求め、鶏舎内にネズミが侵入する恐れがあります。そこで今回は、本格的な寒さを迎える前に、農場におけるネズミ対策について紹介します。

養鶏研究室

ネズミの種類および生態

ネズミ類は国内では約18種が生息しており、鶏舎では主にドブネズミ、クマネズミ、ハツカネズミが問題となります(表1)。ネズミの被害は衛生面と経済面に分けられます。

衛生面では、さまざまな場所を行き来するため、病原菌を媒介し、ヒトや鶏の感染症を引き起こす原因となります。鶏では、サルモネラやインフルエンザを媒介した例があります。

経済面では、クマネズミを昼間に頻繁に見かける鶏舎では5000匹以上が生息していると考えられ、その場合、飼料の盗み食いにより年間で500万円以上の損失が発生します(表2)。

表1 ネズミの種類と生態

| | ドブネズミ | クマネズミ | ハツカネズミ |
|--------|---------------|--------------|--------|
| 体長(mm) | 200~260 | 146~240 | 60~100 |
| 体重(g) | 平均300 | 平均150 | 10~20 |
| 生息場所 | 開放鶏舎に多い | ウインドウレス鶏舎に多い | 鶏舎周囲 |
| | コンクリートの割れ目、側溝 | 天井、壁の隙間 | 畑や草地 |
| 行動 | 平面的 | 立体的 | 潜行的 |
| 性格 | 貪欲で癡猛 | 用心深く慎重 | 用心深く臆病 |

※鶏病研究会報(2014)、第49巻4号、p.263-273 より引用

防除の作業

防除の作業は、2つに大きく分けられます。

①状況の把握

ネズミの種類や数、生息する場所といった生息実態、農場全体の被害、鶏舎環境の調査(鶏舎内の破損箇所や侵入経路の推定)を行う。生息実態の把握には、「ラットサイン」と呼ばれる足跡、糞、かじり跡などの痕跡を確認(写真1、2)。

②防除装置の配置計画

防除には環境的防除、物理的防除、化学的防除の3種類がある。ネズミの種類や習性、装置の特徴を生かし、組み合わせることでより効果的な防除が可能となる。

環境的防除

鶏舎内外の整理整頓および清掃(写真3)

巣の材料となる紙袋、布、ビニール、羽毛を放置しない。天井裏や壁の隙間(ウインドウレス鶏舎では特に注意)、資材置き場や飼料置き場の隅など、鶏舎内で死角となる場所は営巣場所となるので、点検を強化する。

飼料の管理

ネズミは鶏の飼料を盗み食いするため、こぼれた飼料の清掃や飼料の保管場所へのネズミの侵入経路の遮断を行う必要がある。

隙間の封鎖

ドブネズミは2~3cm、ハツカネズミは1.5~2cmの隙間があれば通り抜けるこ

表2 ネズミによる盗食量とその被害額

| ネズミを見かける頻度と生息数の目安※1 | 盗食量(最大量)※1 | | 被害額※2 |
|--------------------------|------------|-----|-------|
| | kg/日 | t/年 | 万円/年 |
| 昼間も頻繁に見かける ⇒5,000匹以上 | 150 | 55 | 548 |
| 昼間も時々見かける ⇒500~1,000匹 | 30 | 11 | 110 |
| 夜間に時々見かける ⇒100~500匹 | 15 | 5 | 55 |
| ラットサインは時々見かける ⇒100匹 | 3 | 1 | 11 |

※1 「ちくさんクラブ21 No.69」P20-21 より引用

※2 被害額は、体重300gのクマネズミ、盗食量は体重の10%、飼料単価10万円/t(農水省の飼料月報(令和6年7月19日)の採卵、ブロイラーの飼料単価から税込の工場戸前条件)で計算した。

写真1 ラットサイン(足跡)



写真2 ラットサイン(糞)



写真3 鶏舎の整理整頓



ネズミ対策の基本は鶏舎内外の整理整頓です!

とが可能。鶏舎内のシャッター、ドア周り、電気ケーブル、ガス管などの引込口、コンベアの入口や資材搬入口、換気扇などの隙間に注意が必要。

物理的防除

ネズミの通り道へのカゴや鼠の設置

粘着マット(写真4)の設置が代表的(ネズミは視力が悪く、水平面での判断が苦手)。粘着マットにはネズミを誘引する効果はない上、ジャンプして避けることもあるのでシート間の隙間を少なくし、敷き詰める方法が理想的。鶏舎のようなちりやほこりの多い環境ではすぐに粘着力が失われ、長期の効果は期待できないため定期的に交換する。

写真4 粘着マット(新品)

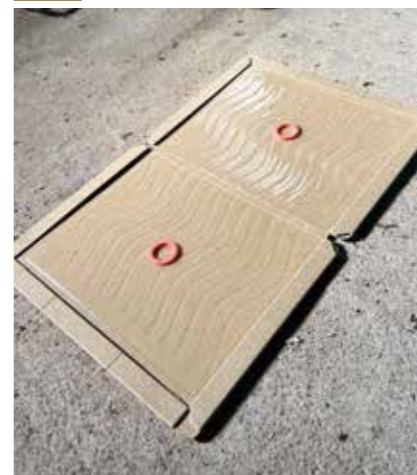


写真5 喫食剤



化学的防除

殺鼠剤・忌避剤の使用

薬剤抵抗性がつくのを防ぐため、長期間、同じ薬剤を使用しないことがポイント。毒には、効き目が早くネズミに気づかれやすい急性毒と、効き目が遅いが気づかれにくい慢性毒がある。ネズミは用心深く、薬剤をあまり食べない傾向があるため、薬剤と飼料や砂糖、食用油などを混ぜて喫食用の毒餌(写真5)を作る。

また、ヒトの匂いに警戒してしまうので、手袋を使用して作成する。

殺鼠剤は使い方を誤れば鶏に対しても中毒を起こす危険性がある。さらに、中毒死したネズミを天敵動物が捕食することで、二次中毒を起こす可能性があるため、取り扱いおよび保管場所には十分な注意が必要。

最後に

ネズミ対策の基本は鶏舎内外の整理整頓です。ネズミを「入れない・すみ着かせない・増やさない」ために、継続して取り組む必要があります。駆除業者に任せようではなく、現場のスタッフと共に意識的に対策を進めていきましょう。



豚呼吸器複合病(PRDC)と経済損失について

豚呼吸器複合病(Porcine Respiratory Disease Complex 以下PRDC)は豚の環境変化等に伴うストレスや、豚の免疫力の低下を背景として、複数のウイルスや細菌が感染することで発症します。今回は、PRDCの概要とその経済損失について説明します。

1 PRDCの概要

(1) PRDCの原因

ア 主なウイルス

豚繁殖・呼吸障害症候群ウイルス(PRRSV)、豚サーコウイルス2型(PCV2)、豚インフルエンザウイルス(SIV)

イ 主な細菌

マイコプラズマ・ハイオニューモニエ(*Mycoplasma hyopneumoniae*)、アクチノバシラス・プルロニューモニエ(*Actinobacillus pleuropneumoniae*: APP)、レンサ球菌(*Streptococcus suis*)、パスツレラ・ムルトシダ(*Pasteurella multocida*)、ヘモフィルス・パラスイス(*Haemophilus parasuis*)

ウ 環境要因

ストレス、飼育環境の悪化、不適切な換気、密集した飼育状態など

(2) 症状

急性例では死亡することもあり、慢性例では咳、呼吸困難、食欲不振、発熱、鼻水などがあります。慢性例でも豚の成長を遅らせ、生産効率を低下させます。

PRDCを発症した豚の肺では複数の病変が認められることが多くあります(写真)。

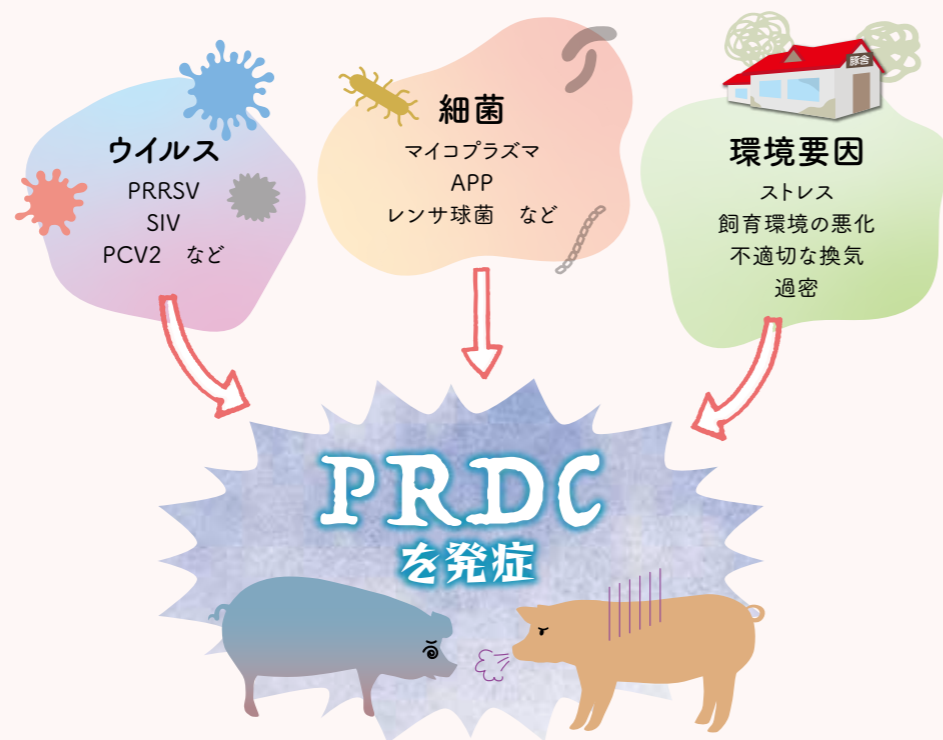
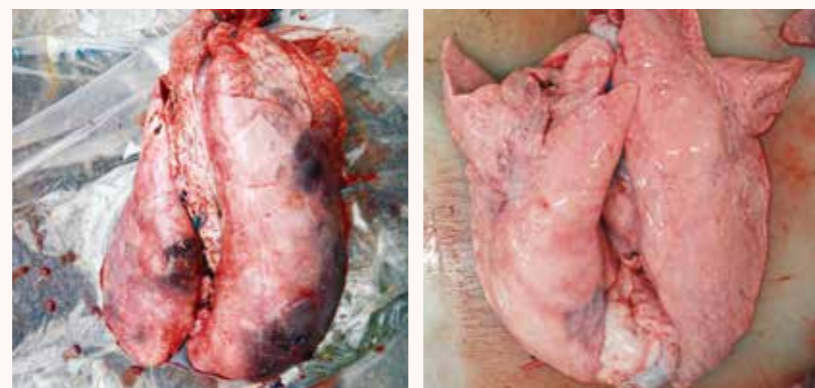


写真 PRDCによる事故豚の肺(左)は正常肺(右)と比べて暗赤色に変色した病変部が認められます。病変部は硬く、APPが分離されました。



2 PRDCによる農場での経済的被害

PRDCは豚の状態を悪化させ、経済的にも大きな影響を及ぼします。その主な理由と影響について説明します。

(1) 成長の遅れ

病気にかかった豚は健康豚よりも成長が遅くなります。出荷するまでの期間が長くなるため、その間の飼育コストが増えます。

(2) 死亡率の増加

PRDCにより死亡する豚が増えると、出荷できる豚が減少して売上げが落ちま

す。また、死亡豚の処理や廃棄にもコストがかかります。

(3) 衛生費の増加

病気を治療するための薬剤や獣医師の診療費等が必要です。これらのコストは決して安くはなく、特に大規模な感染が発生した場合には経済的負担も大きくなります。

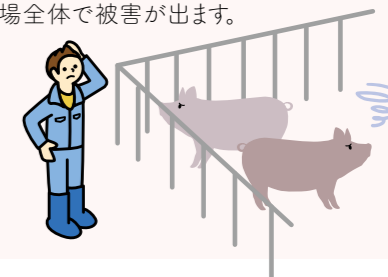
(4) 肉質の低下

病気にかかった豚の肉質は通常よりも低下するとの報告もあります。そのため、販

売価格が下がり、利益が減少する恐れがあります。

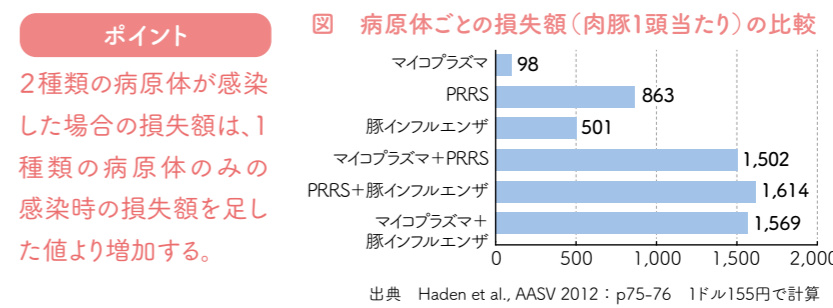
(5) 生産効率の低下

PRDCを発症している農場では発育がバラツキ、豚舎の回転が悪くなります。また、農場としての飼料効率も悪化するなど、農場全体で被害が出ます。



3 経済損失の具体例

PRDCで複数の病原体が感染したことによる経済損失について米国での調査結果を紹介します。調査では豚繁殖・呼吸障害症候群(PRRS)、豚インフルエンザ、マイコプラズマの3病原体の感染状況に応じて肉豚1頭当たりの損失額を算出しました(図)。



4 予防と適切な管理

PRDC対策には予防と適切な管理が非常に重要です。主な対策を紹介します。

(1) ワクチン接種

マイコプラズマ、サーコ等のワクチンが応用できる病気に対しては、ワクチンを使うことで被害の軽減が期待されます。

(2) 飼育環境の改善

適切な換気や清潔な環境、適度な飼養密度を保つことで、発症を抑えられます。

(3) ストレスの低下

豚に過度なストレスをかけないようにすることが重要です。ストレスは免疫力を低下させ、発症のリスクを高めます。

(4) 早期発見と迅速な治療

健康状態の悪い豚の早期発見と迅速な治療が、被害を最小限に抑えるために重要です。

5 検査

農場にどのような病原体が侵入しているかを把握しておくことは、予防の上で重要です。現在、PRDCに関する病原体の多くは、農場への侵入の有無を検査によって把握することが可能です。また、年2回以上定期的に母豚から肉豚までを検査することで、農場内の感染状況を把握できます。

6 まとめ

PRDCは豚の健康と経営に大きな影響を与えます。効果的な予防と適切な管理が、経済損失を減らし、持続可能な養豚場を維持するために不可欠です。検査には費用がかかりますが、自身の農場内にど

の病原体が侵入しているか感染状況を知っておくことが重要です。適切な衛生プログラムを作成でき、ワクチンや抗生物質の不必要な使用を低減することにつながり、最終的には経営に好影響を与える

ことができます。検査等をご希望される場合は、管轄のJAや経済連、JA全農くみあい飼料株式会社、JA全農県本部を通じて全農クリニックへ相談ください。

海外レポート



大韓民国
Republic of Korea

アフリカ豚熱の発生状況 日本国内への侵入を防ぐためには



① はじめに

アフリカ豚熱はアフリカ大陸に起源を持ち、豚やイノシシの病気として知られ、発熱や全身性の出血性病変を特徴とする致死率の高い病気です。

アフリカ大陸以外ではヨーロッパや中南米などで散発的に発生がありました。イタリアのサルジニア島以外では撲滅していました。しかし、2007年に東ヨーロッパのジョージアでの発生を機にヨーロッパ地域で拡大を続け、現在はイタリア、ドイツ、スウェーデンまで発生が広がっています。ヨーロッパでのアフリカ豚熱発生は、①野生イノシシの感染個体数の増加②養豚場で発生——という順で拡大しています。ドイツ国内ではポランドとの国境付近での発生だけでなく、オランダやフランスとの国境付近での発生も報告され、さらなる発生拡大が懸念されています。

アジア地域では、ロシア国内での発生拡大を受け、18年に中国で、19年に韓国で発

④ 日本国内への侵入防止対策

さまざまな人や物を介して日本国内にアフリカ豚熱ウイルスが侵入するリスクは高まっています。

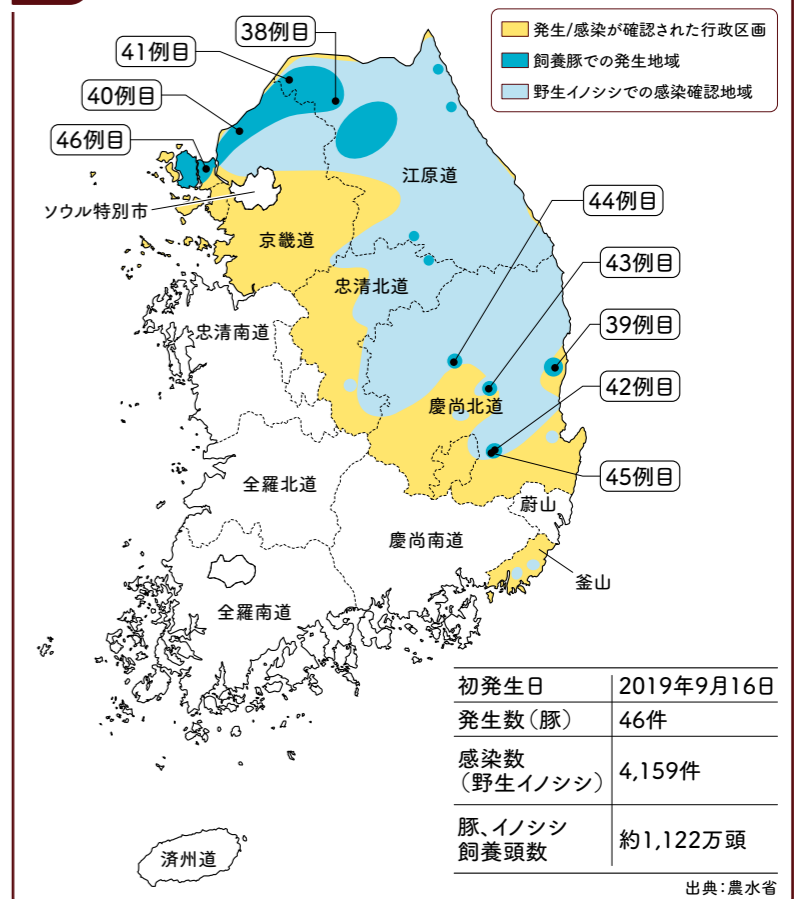
農水省はウイルス侵入防止の取り組みとして海外旅行者への注意喚起を強化しています。空港等におけるアフリカ豚熱発生国からの日本国内への肉製品の持ち込み防止を目的とした検査の強化、空港での靴底の消毒、日本国内での農場施設への不要な立入禁止の要請等を実施しています。

18年に国内で豚熱が発生した際、豚熱ウイルスが野生イノシシを介して養豚場に広がった点を踏まえ、登山者やキャンプ利用者に対して、肉製品を含む食品の廃棄禁止、使用した靴裏の汚れ落とし、消毒・洗浄ポイントの利用を推奨しています。

⑤ 豚舎への侵入を防ぐには

養豚場で想定される豚舎へのアフリカ豚熱ウイルス侵入経路としては、豚熱ウイルスの侵入経路と同様、①イノシシ、その他野生動物を介した豚舎内へのウイルス持ち込み②人や衣類、機材等を介した豚舎内へのウイルス持ち込み③水を介した豚舎内へ

図2 韓国におけるアフリカ豚熱発生状況(24年8月30日時点)



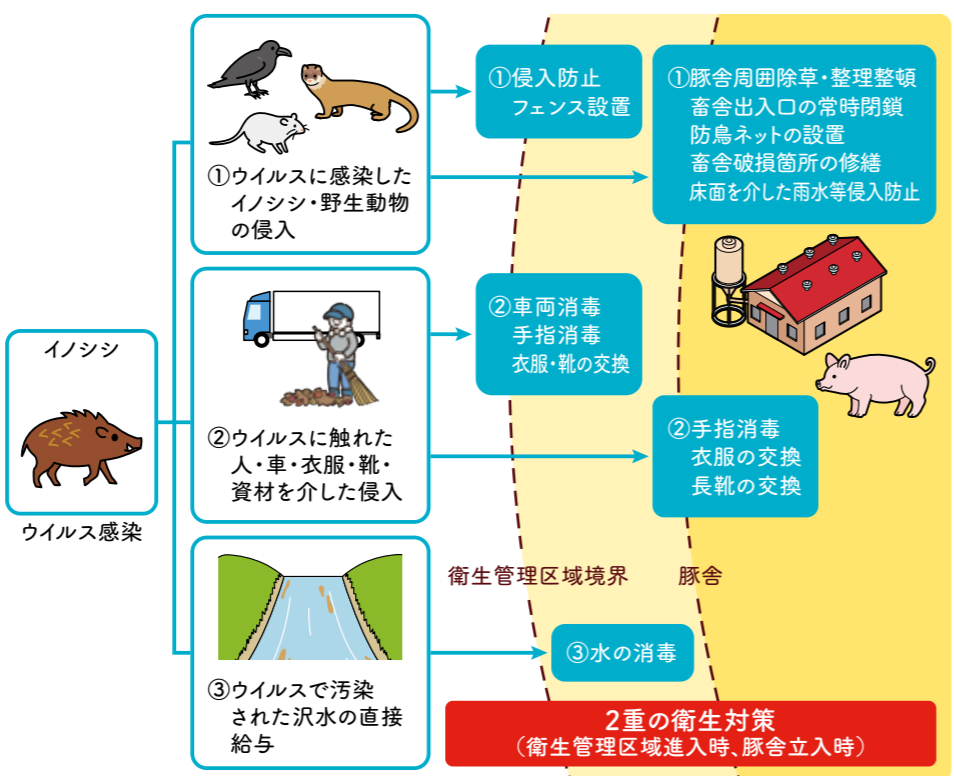
② 韓国での発生状況

韓国では、19年に北朝鮮国境に近い養豚場での発生以降、養豚場や野生イノシシで

生しました。日本の近隣国での発生が継続しており、現時点ではアジア地域でアフリカ豚熱が報告されていない国は日本、台湾、スリランカに限られています(図1)。アフリカ豚熱の発生拡大状況▼▼Web限定公開▼▼

の検出が継続しています。24年に入り、半島中部に位置する慶尚北道の養豚場で延べ5事例の発生を確認しました(図2)。発生増加の要因は、野生イノシシの検出地域が南下し、当該地域でアフリカ豚熱に感染した野生イノシシの個体数が増えたことにあります。養豚場周辺に常にアフリカ豚熱ウイルスがいる状態となり、農場・豚舎内への侵入リスクが高まっているためと考えられます。

農場・豚舎へのウイルスの侵入経路と 予防対策の重要ポイント



これらの対策はアフリカ豚熱、豚熱予防に役立ちます

表 豚肉などからのアフリカ豚熱ウイルス遺伝子検査陽性事例 (2024年1~7月)

| 輸送形態 | アフリカ豚熱遺伝子陽性事例数 | 由来地域 |
|-------|----------------|------|
| 旅客携帯品 | 50例 | アジア |
| 国際郵便物 | 39例 | アジア |
| 計 | 89例 | |

出典:農水省動物検疫所

のウイルス持ち込み——があげられます。普段からの飼養衛生管理基準の遵守が、アフリカ豚熱と豚熱のウイルス侵入を防ぐ対策になります。農場外から病原体を「入れない、増やさない、持ち出さない」取り組みを継続してください。さらに、アフリカ豚熱ウイルス対策として海外肉製品の農場への持ち込み禁止、農場関係者以外の

▼▼Web限定公開▼▼

図1. アフリカ豚熱の発生拡大状況

(出典:農水省)



校名
鹿児島県立
鹿屋農業高等学校

| 所在地 | 生徒数 |
|------------------|---------------------|
| 鹿児島県鹿屋市寿2丁目17番5号 | 427名 (2024年4月時点) |

創立
明治28(1895)年5月1日

学科
畜産科、農業科、園芸科、農業機械科、
農林環境科、食と生活科

暑い中、作業
が疲れすぎます



増永泰久
校長

特徴
文部科学省から農業経営者育成高等学校の指定を受け、農業のスペシャリスト育成を目指す。農業科、園芸科、畜産科の生徒は1年次に「責善寮」に入寮し、農業者としての資質を養成する。遠隔地出身者向けの寄宿舎もある。

和牛一貫経営を学べる環境
県内外から生徒集う

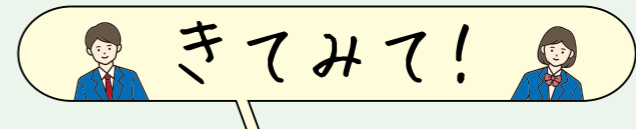
鹿屋農業高等学校は畜産、農業、園芸、農業機械、農林環境、食と生活の6学科をそろえる。和牛経営など農業の盛んな肝属地域に校舎を構える同校には、離島も含む県内外から専門的な農業を学ぶために意欲ある生徒が集う。

畜産科は3年生33人、2年生20人、1年生15人が所属し、和牛91頭、交雑種2頭を飼養。後輩への知識と技術の継承を図るため、3学年での合同実習に力を入れる。

同科の特徴の一つに、和牛の生産から育成、肥育までの一貫経営を学べる環境がある。実習を通して、子牛や肥育牛の出荷なども経験する。

近年は受精卵での牛の生産も始めた。畜産科の篠原道明先生は「一貫体制を通して、生徒自身で育てた牛が、どんな肉になるのかを学べる。3年間の限られた期間ですが、次の学年や世代に牛をつなぐ経験も重要な学習です」と話す。

牛の管理は専攻班の当番活動と、部活動の「鹿児島黒牛研究部」で実施する。部は現在、3年生6人、2年生1人、1年生3人で活動しており、生徒は自主的に昼休みや休日にも集まり、子牛の哺乳や給餌、草入れなどの管理を欠かさない。増永泰久校長は「夏休みも暑い中、世話をしている生徒を見ると、本当に牛に愛情をもって接していることが分かります」と話す。



うちの学校

かのや
鹿児島県立鹿屋農業高等学校

創立129年の歴史と伝統を誇る鹿児島県立鹿屋農業高等学校。畜産科では肉用牛、酪農、養豚、養鶏と畜産主要部門を全て学べる。そして、専攻学習により、畜産業を支えるスペシャリストを育成する。部活動として「鹿児島黒牛研究部」で和牛について学びをさらに深め、同部は2023年度の第7回和牛甲子園で総合評価部門「最優秀賞」に輝いた。和牛の飼養に汗を流す“高校牛児”の取り組みを紹介する。



地元農家や企業からの応援

過去の和牛甲子園で好成績を残してきたこともあり、同校には地域から注目が集まる。第7回和牛甲子園に出品し、校訓の一つを冠した「誠実号」は地域の血統を利用した受精卵移植で誕生した。地元農家の勧めで4年前から計画し、学校で生まれた牛が好成績だったことで、大会後は地元からの反響が大きかったという。

同校の卒業生には、肝属地域の和牛農家が多く、農家からアドバイスを直接受ける機会もある。牛の選抜や給餌についての助言の他、超音波を使った肉質の検査を卒業生の農家から学んだ。篠原先生は「地元農家や先輩がつないできた和牛を大切に飼い、守っていく意識が育っています」と語る。

和牛の生産、加工から販売までを行う地元企業との連携も実施。農業高校向けの枝肉共励会への参加や、バイヤーを招いた勉強会、枝肉の断面を生徒が確認する活動も行ってきた。増永校長は「生徒の努力に、今後いろいろな良い結果がついてくると思う。これからは楽しみ」と笑顔で話した。



第7回和牛甲子園で最優秀賞

24年1月の第7回和牛甲子園で、鹿児島県牛研究部は取組評価と枝肉評価を合わせた総合評価部門で最優秀賞に輝いた。取組評価部門では、飼料価格高騰を受けて、地域の未利用資源である竹の活用に加え、受精卵移植活用の取り組みなどが評価され審査員特別賞に選ばれた。枝肉評価部門では最優秀賞を獲得。篠原先生は「生徒が牛を毎日見ること、日々の変化を見逃さなかった。牛自らが生徒に寄ってくるほどの関係性をつくっている。丁寧な管理が結果に結びついた」と振り返る。

同部は第8回和牛甲子園での連携や今後の共励会での受賞を見据え、生徒は夏休みも牛の世話をするために学校に通う。生徒の一人は「前回大会で他校の飼養環境などが刺激になった。次は前回の自分たちを超えることを目標に取り組みます」と意気込む。

一方で篠原先生は「大会の結果が全てではなく、まずは牛の命を大切に扱って出荷するまでをやりきることが大切。その上で楽しんで仕事ができるような人に育ってほしい」と指導する。

枝肉評価部門で他を圧倒
丁寧な管理が実を結ぶ

命を扱う自覚を持って、
楽しんで仕事の
できる人になろう



畜産科 学科主任
篠原道明先生



和牛甲子園の副賞授与式

取材当日、第7回和牛甲子園の副賞授与式が開かれた。全農畜産サービス株式会社の田野倉忠之専務が、牛の様子を遠隔で確認できる養牛カメラのCAME1000(カメセン)を学生に授与。田野倉専務は「引き続き、畜産への取り組みに力を入れてほしい」と激励した。3年生の森元陽哉さんは「次の大会に向け、自信のある品質に仕上げていきたい。枝肉で満点を取り、完全優勝したい」と力を込めた。



副賞を手渡す田野倉専務(左)



「養牛カメラ」を生かし、
次回大会で完全優勝を目指す

浦崎 聖斗さん

地域資源の「竹」活用を研究



竹を活用した飼料



牛の食い込みも良いという

竹林面積全国1位の鹿児島県の資源活用を目的に、地元企業と連携して竹の活用を進めている。豚肉で肉質向上効果が確認されている、サイレージ化した竹の肥育牛への給与を試験中。脂肪の質に影響するとされるオレイン酸の含有量アップが期待できる。敷料に竹を追加し、消臭効果も検証するなど、無駄のない地域資源活用を目指している。

牛には手を
掛けただけ、
結果で返って
くるのが面白い

かわいい牛と
会えるから、
毎日の世話も
やりがいがある!

長嶺 葉月さん

門原 真央さん



養鶏業界の気になる話題をまとめて解説

全農養鶏セミナー2024

期間 2024年9月9日～9月30日

方法 オンライン配信 参加費 無料

J A全農畜産生産部は2024年9月9日から9月30日まで、「全農養鶏セミナー2024」をオンライン形式で開催しました。業界の気になる話題を一度に学べるセミナーということで、多くの皆さまにご参加いただきました。ここでは、配信したセミナーのポイントをご紹介します。



テーマ1 直近の飼料原料情勢

全農穀物外為課

課長 鮫嶋 一郎

全農蛋白原料課

課長 境 健司

飼料価格に大きく影響するトウモロコシと大豆の直近情勢について、全農の原料部門より解説をしました。トウモロコシについては20～22年にかけて、シカゴ

相場が高騰していたものの、直近に関しては、米国・南米ともに順調な作柄予想で、また、中国の輸入需要も一定落ち着いてきていることもあり、相場は落ち着いてきています。

大豆についても同様に、米国の順調な作柄予想が、シカゴ相場に反映されています。また、米国では再生可能ディーゼル(RD: Renewable Diesel)・持続可能エネルギー 由来の航空燃料(SAF: Sustainable Aviation Fuel)向けの大豆油の需要が大幅に増加しており、これに

テーマ3 鳥インフルエンザ

全農 家畜衛生研究所 クリニック 東日本分室

獣医師 三牧 茜
獣医師 土屋 厚人

全農畜産サービス株式会社
施設素ひな事業部 素ひな営業課

鈴木 康仁

全農畜産サービス株式会社
資材 大家畜事業部 営業課

西岡 真二

鳥インフルエンザについては、全農クリニック 東日本分室から昨シーズンの振り返りと、鶏舎に野生動物を侵入させないための取り組みについて、全農畜産サービス(株)から鶏舎への鳥インフルエンザ対策用フィルター設置と首撃カラススナイパーについて紹介しました。

昨シーズンも、農場で鳥インフルエンザが発生し、また野鳥でも鳥インフルエンザウイルスの検出が多数報告され、ますます防疫対策の重要性が高まっています。その中でも、鶏舎内へウイルスを持ち込ませない取り組みは最重要です。鶏舎周りの目視やセンサーカメラを使うことで、今まで気付かなかったリスクの削減を行うことができます。また鶏舎へのフィルター設置や、AIを使ったカラスの

テーマ2 鶏卵の需給動向と今後の見通し

J A全農たまご株式会社
東日本営業本部 第一営業部

次長 桑原 徹平

直近の鶏卵の需給動向について、J A全農たまご(株)から解説をしました。22年に発生した高病原性鳥インフルエンザの影響から、直後の23年の鶏卵相場は高

図1. 米国大豆搾油工場の増加



に伴い新規搾油工場の建設が進むなど、情勢に大きな変化が現れており、今後の情勢が注目されます(図1)。

テーマ4 全農グループにおける養鶏技術情報と農場調査等の取り組み

全農 飼料畜産中央研究所 養鶏研究室

轟 佳那子

飼料畜産中央研究所からは、全農が提供する技術情報誌の紹介と農場での取り組みの紹介を行いました。本誌では、これまで多くの優良事例や技術情報を掲載してきました。さらに本年4月からWEB版もリニューアルしており、過去の情報もキーワード検索で簡単に探せるようになっていきます。この機会にぜひ、WEB版へアクセスしてみてください。

ちくさんクラブ21 WEB版



図2. 国内の飼養羽数と鶏卵相場



騰し、結果的に国内の鶏卵消費量は22年以前と比べて縮小しました。その後、国内の飼養羽数は徐々に戻ってきたものの、22年以前の水準までは戻っていません(図2)。

写真1. 鶏舎での野生動物侵入防止の取り組み例

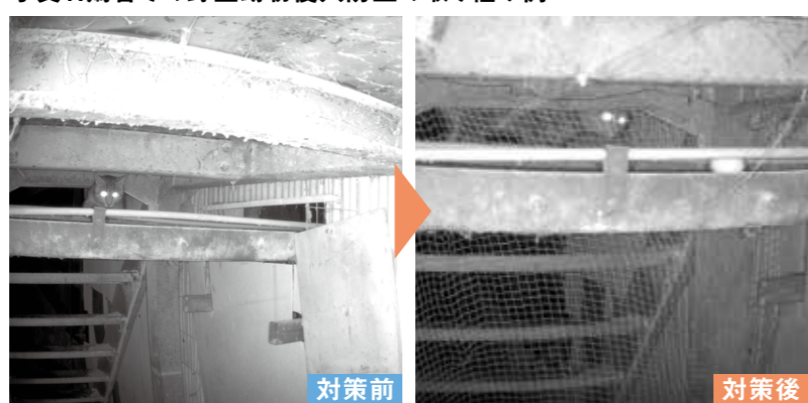
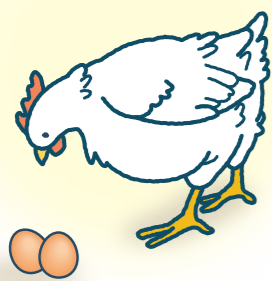


写真2. 入気口へのフィルターの設置



需要面についてみると、家計消費は22年以前の水準に戻っており、外食向けについても比較的好調に推移しています。一方で加工向けは当時の卵価高騰の影響により、マヨネーズをはじめ惣菜や製菓、製パン等に使用される卵の使用割合が減少した状態から戻ってきています。結果国内需要は22年以前と比べて縮小したままとなっています。

24年8月末の直近の状況としては、猛暑による産卵率低下や空舎延長事業の影響もあり、需給は引き締まってきています。しかしながら、下半期には需要の回復以上に国内の飼養羽数も右肩上がりに増加することが予想されるため、業界として、引き続き消費拡大を促すと共に需要に見合った生産を維持していくことが重要となっていきます。

in北海道
札幌

第17回

全農酪農セミナー
開催のご案内 2024

開催日時 2024年12月3日(火) 10:00~16:30 (受付開始9:30、昼食付)

開催方法 現地開催と後日Web配信(12/9~1/10)

開催場所 ニューオータニイン札幌 2階 鶴の間
北海道札幌市中央区北2条西1丁目1-1駐車場はホテル内、またはタイムズステーション
さっぽろ創世スクエア(札幌市中央区北1条西1-6)

参加費 無料

対象者 JAグループ職員および酪農関係者

定員
150人

申込期限 2024年11月26日(火) 申込方法は下欄に記載

セミナー内容(予定)

講座タイトル

リック・グラント学長
退任記念講演講師:リック・グラント氏
(ウィリアム・マイナー農業研究所 理事)

今回の演者であるリック・グラント氏はウィリアム・マイナー農業研究所で20年間学長を務め、昨年退任されました。カウコンフォートの追求で乳牛の生産性向上に貢献し、また乳牛における粗飼料の利用性についても研究を重ねられてきました。

本セミナーでは世界の酪農で課題となっている暑熱ストレスによる牛の行動変化とその対策方法、また全農と行ってきた共同研究の歴史と現在の研究への応用について講演していただきます。



講座内容

①暑熱時における乳牛の行動変化と
カウコンフォートによる対策について

乳牛の生産効率を最大限に引き出すためには快適に過ごせる環境を提供することが重要です。暑熱対策について、休息・食事・社会行動など牛が自然に過ごせる環境を提供するという観点からご紹介します。

②ウィリアム・マイナー農業研究所と全農の
共同研究28年の歴史

ウィリアム・マイナー農業研究所と全農の共同研究は1996年にスタートし、酪農の生産性向上を目指してさまざまな研究に取り組んできました。28年の歴史を振り返るとともに、最近の研究成果についてご紹介します。

- 泌乳期および移行期におけるデンブンの利用性
- 移行期の代謝タンパク給与水準についての検討
- 粗飼料の消化性を考慮した給与飼料成分の検討

申込
方法

以下の二次元コードから申し込みをお願いします。
申し込みフォームに必要事項をご記入いただき、セミナー当日に現地にてご参加ください。もしくは、後日(12/9~1/10)のWeb配信でセミナーをご視聴ください。Web配信期間中は、繰り返し視聴することができます。

※ご視聴後は、アンケートにご回答ください。セミナー内容に関するご質問等がございましたらアンケートからご記入ください。後日、担当者から回答します。

渡り鳥の飛来状況 可視化の取り組み

鳥インフルエンザ対策において、国内に鳥インフルエンザウイルスを持ち込む可能性のある渡り鳥の飛来状況を把握しておくことは非常に重要です。毎年、秋から春にかけて、環境省が全国52カ所の観測ポイントの渡り鳥飛来データをホームページ上で公開しています。全農家畜衛生研究所では、このデータをもとに、いつ、どこに、どんな渡り鳥が、どれだけ飛来しているのかを地図上に記載して、地域ごとの渡り鳥の飛来状況を可視化したものを、全農が運営する畜産総合情報サイトJACCネットにて公開を始めました。昨シーズンの情報も公開していますので、これからのシーズン突入に向けて、ぜひ一度ご覧ください。なお、今シーズンの情報は、その都度更新していきます。

環境省

元データ
渡り鳥の
飛来状況

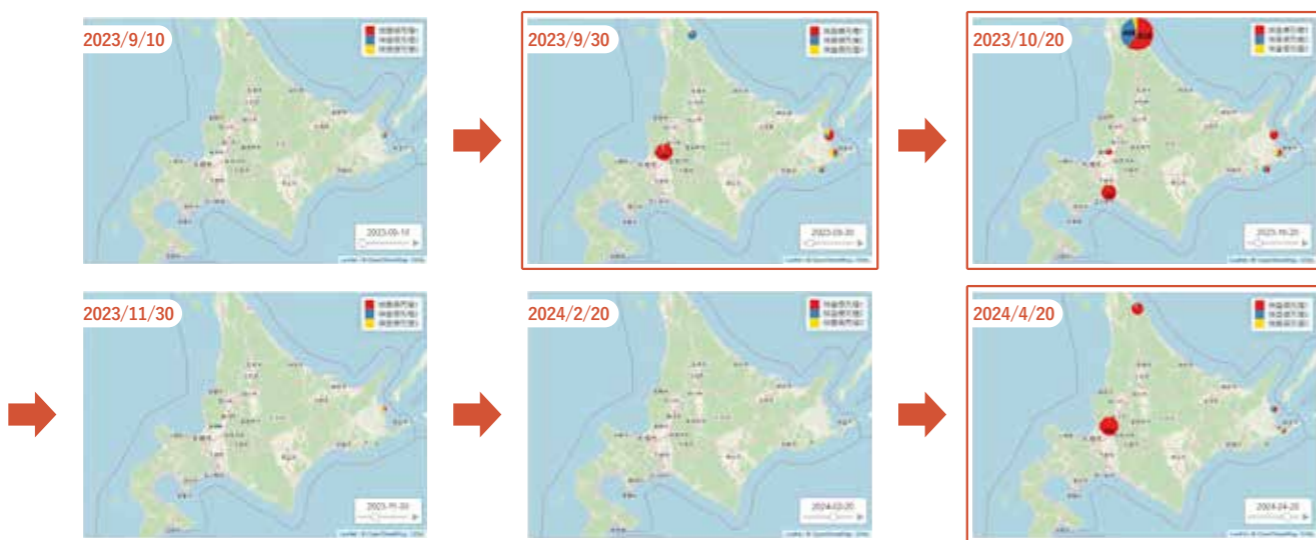


JACCネット

可視化した
飛来状況



2023-24シーズン データの紹介(北海道の例)



北海道では23年9月下旬から美瑛市の宮島沼にマガンを主とした渡り鳥の飛来が観察されました(9/30,10/20)。また同じ時期、根釧地域でもハクチョウなどの渡り鳥が飛来しています(10/20)。その後、いったん観測数は減ったものの、再度4月に渡り鳥の飛来が認められました(4/20)。

鳥インフルエンザ検査優先種について

- 検査優先種1 ● 鳥インフルエンザに感受性が高く、死亡野鳥等の調査で検出しやすいと考えられる19種(例:マガン、コハクチョウ、ヒドリガモ、オオタカ、ハヤブサ等)
- 検査優先種2 ● さらに発見の可能性を高めることを目的とした8種(例:マガモ、オナガガモ、オオワシ、フクロウ等)
- 検査優先種3 ● 感染の広がりを把握することを目的とした鳥類(例:カルガモ、カワウ、ハシボソガラス、ハジブトガラス等)

POINT
pH12
以上

効果的な防疫資材の利用

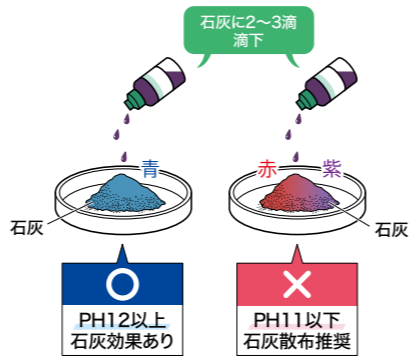
逆性石けんのアルカリ化で
消毒効果の強化(踏込み槽など)

フィーナナチュラルFNPパウダー
水に溶解するとpH12以上の強アルカリ溶液となり、高い消毒作用を持ちます。さらに踏み込み消毒時などに、逆性石けんへ添加することで、低温下、有機物混入時もpHの低下を抑え、消毒効果を持続させます。



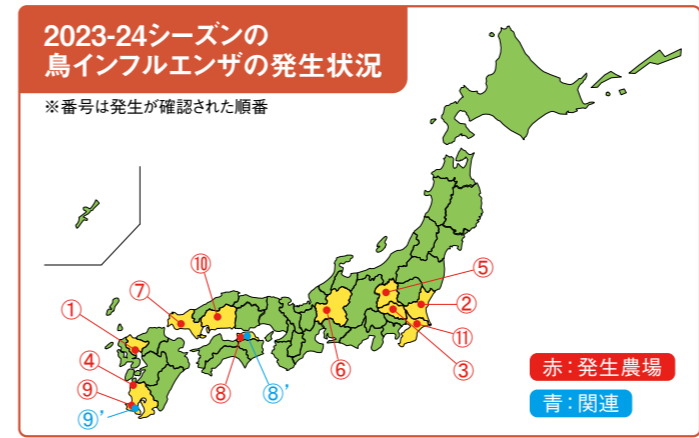
目視での消石灰の
効果確認

リトアクア
散布した消石灰が消毒効果の高いpH12以上を維持できているのか目視し、より効果的な石灰散布が実施できます。



！ 養鶏生産者、関係者の皆様へ 高病原性鳥インフルエンザ (HPAI) ウイルスは、 農場のすぐ近くまで来ている可能性が 十分にあります。 関係者一丸となって防疫対策の 徹底に取り組みましょう。

農場、関連施設にウイルスを **持ち込まない** **広げない** **持ち出さない**



防疫徹底の重要性
昨シーズン農場で発生した高病原性鳥インフルエンザ(以下、鳥インフルエンザ)は10県11事例で、その前年の2022-23シーズンと比較すると、少ない発生件数でした。しかし、野鳥での鳥インフルエンザの発生は156事例と、全国的にウイルスが蔓延していたことが明らかになっています。関係者全体で取り組んだ防疫の徹底が、農場での鳥インフルエンザ発生を抑えこんだ可能性が高く、改めて防疫徹底の重要性が示されました。

2024-25シーズンも 10月以降、渡り鳥とともに 鳥インフルエンザウイルスが 国内に侵入すると 考えられます。



ウイルスの鶏舎への侵入機会を減らすことが、発生リスクを下げることに繋がります。鶏舎を家畜防疫の最後の砦と捉えて、防疫徹底によりウイルスの侵入を防ぎましょう。

鶏舎への野生動物を介した侵入防止

鶏舎に野生動物が侵入していませんか？ 隙間は早急に塞いでリスクの侵入を防ぎましょう。

確実性の高い防疫対策の実施

スノコを利用した長靴の履き替え

少しの工夫で対策可能な場所もあります。分かりやすく解説した『飼養衛生管理基準ガイドブック(鶏その他家さん編)』も参考にしてください。

肉牛枝肉共励会・子牛市場情報

肉牛枝肉共励会情報

お知らせ

平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
『肉牛枝肉共励会情報』について、「ちくさんクラブ21」150号（令和6年7月号）で掲載中止をご案内しておりましたが、今後はJA全農主催の共励会情報をご案内させていただきます。
JACCネットでは今後、JA全農主催共励会の最新情報や歴代の褒賞一覧などをご覧いただけるようにリニューアルします。
引き続き「ちくさんクラブ21」・JACCネットのご愛読をよろしくお願ひ申し上げます。



子牛市場情報

和牛素牛全国主要市場成績令和6年8月度 一雌・去勢計の高値上位15市場（8月30日時点）一

| 都道府県 | 市場 | 性 | 上場頭数 | 平均価格 円/頭(税込) | 体重 kg | 単価 円/kg | 前回平均 円/頭(税込) | 前回比 % |
|------------|----|---|--------|--------------|-------|---------|--------------|-------|
| 黒毛和種 全国計 | | 雌 | 10,988 | 445,192 | 287 | 1,553 | 450,948 | 99 |
| | | 去 | 13,826 | 572,761 | 313 | 1,829 | 560,805 | 102 |
| | | 計 | 24,814 | 516,272 | 301 | 1,713 | 511,721 | 101 |
| 1 兵庫 淡路 | | 雌 | 118 | 768,704 | 240 | 3,204 | 764,851 | 101 |
| | | 去 | 162 | 1,057,324 | 266 | 3,980 | 1,032,366 | 102 |
| | | 計 | 280 | 935,691 | 255 | 3,672 | 923,345 | 101 |
| 2 岐阜 関 | | 雌 | 120 | 543,279 | 245 | 2,220 | 579,123 | 94 |
| | | 去 | 188 | 615,164 | 276 | 2,232 | 641,381 | 96 |
| | | 計 | 308 | 586,983 | 263 | 2,228 | 617,037 | 95 |
| 3 北海道 十勝 | | 雌 | 925 | 500,178 | 319 | 1,569 | 515,325 | 97 |
| | | 去 | 1,236 | 631,824 | 339 | 1,862 | 623,260 | 101 |
| | | 計 | 2,161 | 575,536 | 331 | 1,741 | 576,781 | 100 |
| 4 栃木 矢板 | | 雌 | 347 | 481,431 | 296 | 1,626 | 456,746 | 105 |
| | | 去 | 396 | 652,713 | 331 | 1,970 | 604,936 | 108 |
| | | 計 | 743 | 573,047 | 314 | 1,819 | 539,916 | 106 |
| 5 北海道 南北海道 | | 雌 | 630 | 484,125 | 311 | 1,557 | 487,039 | 99 |
| | | 去 | 847 | 613,997 | 334 | 1,840 | 601,257 | 102 |
| | | 計 | 1,477 | 558,649 | 324 | 1,724 | 550,880 | 101 |
| 6 群馬 渋川 | | 雌 | 91 | 442,882 | 304 | 1,454 | 448,513 | 99 |
| | | 去 | 148 | 617,100 | 340 | 1,815 | 628,456 | 98 |
| | | 計 | 239 | 551,768 | 326 | 1,688 | 558,605 | 99 |
| 7 沖縄 今帰仁 | | 雌 | 92 | 442,905 | 292 | 1,517 | 455,307 | 97 |
| | | 去 | 143 | 612,131 | 316 | 1,940 | 589,432 | 104 |
| | | 計 | 235 | 545,881 | 306 | 1,782 | 529,443 | 103 |
| 8 宮崎 小林 | | 雌 | 463 | 476,222 | 286 | 1,664 | 416,431 | 114 |
| | | 去 | 582 | 588,470 | 311 | 1,894 | 522,605 | 113 |
| | | 計 | 1,045 | 538,737 | 300 | 1,797 | 475,137 | 113 |
| 9 長野 中央 | | 雌 | 131 | 464,322 | 266 | 1,747 | 516,562 | 90 |
| | | 去 | 177 | 584,377 | 296 | 1,973 | 610,343 | 96 |
| | | 計 | 308 | 534,121 | 283 | 1,878 | 574,183 | 93 |
| 10 宮崎 宮崎 | | 雌 | 280 | 473,703 | 282 | 1,675 | 457,204 | 104 |
| | | 去 | 329 | 584,896 | 304 | 1,925 | 508,310 | 115 |
| | | 計 | 609 | 533,773 | 294 | 1,817 | 484,456 | 110 |
| 11 北海道 北見 | | 雌 | 141 | 469,394 | 320 | 1,469 | 427,232 | 110 |
| | | 去 | 210 | 576,238 | 345 | 1,672 | 575,104 | 100 |
| | | 計 | 351 | 532,755 | 335 | 1,593 | 510,828 | 104 |
| 12 熊本 熊本県 | | 雌 | 518 | 461,311 | 292 | 1,582 | 447,169 | 103 |
| | | 去 | 719 | 579,229 | 322 | 1,801 | 584,552 | 99 |
| | | 計 | 1,237 | 529,978 | 309 | 1,714 | 524,433 | 101 |
| 13 秋田 総合 | | 雌 | 159 | 452,675 | 299 | 1,516 | 466,919 | 97 |
| | | 去 | 183 | 588,863 | 325 | 1,811 | 602,634 | 98 |
| | | 計 | 342 | 526,224 | 313 | 1,682 | 540,542 | 97 |
| 14 福島 本宮 | | 雌 | 288 | 446,818 | 294 | 1,518 | 468,127 | 95 |
| | | 去 | 356 | 585,973 | 323 | 1,817 | 548,763 | 107 |
| | | 計 | 644 | 524,053 | 310 | 1,690 | 512,482 | 102 |
| 15 宮崎 都城 | | 雌 | 431 | 469,372 | 277 | 1,690 | 470,656 | 100 |
| | | 去 | 553 | 566,009 | 308 | 1,837 | 571,392 | 99 |
| | | 計 | 984 | 523,681 | 294 | 1,776 | 524,336 | 100 |

JA全農が提供する畜産総合情報サイト「JACCネット」▶▶▶▶▶ <https://jaccnet.zennoh.or.jp/> ▶▶▶▶▶



野生イノシシからの豚熱ウイルス検出が発生しています

豚熱ウイルスの検出状況

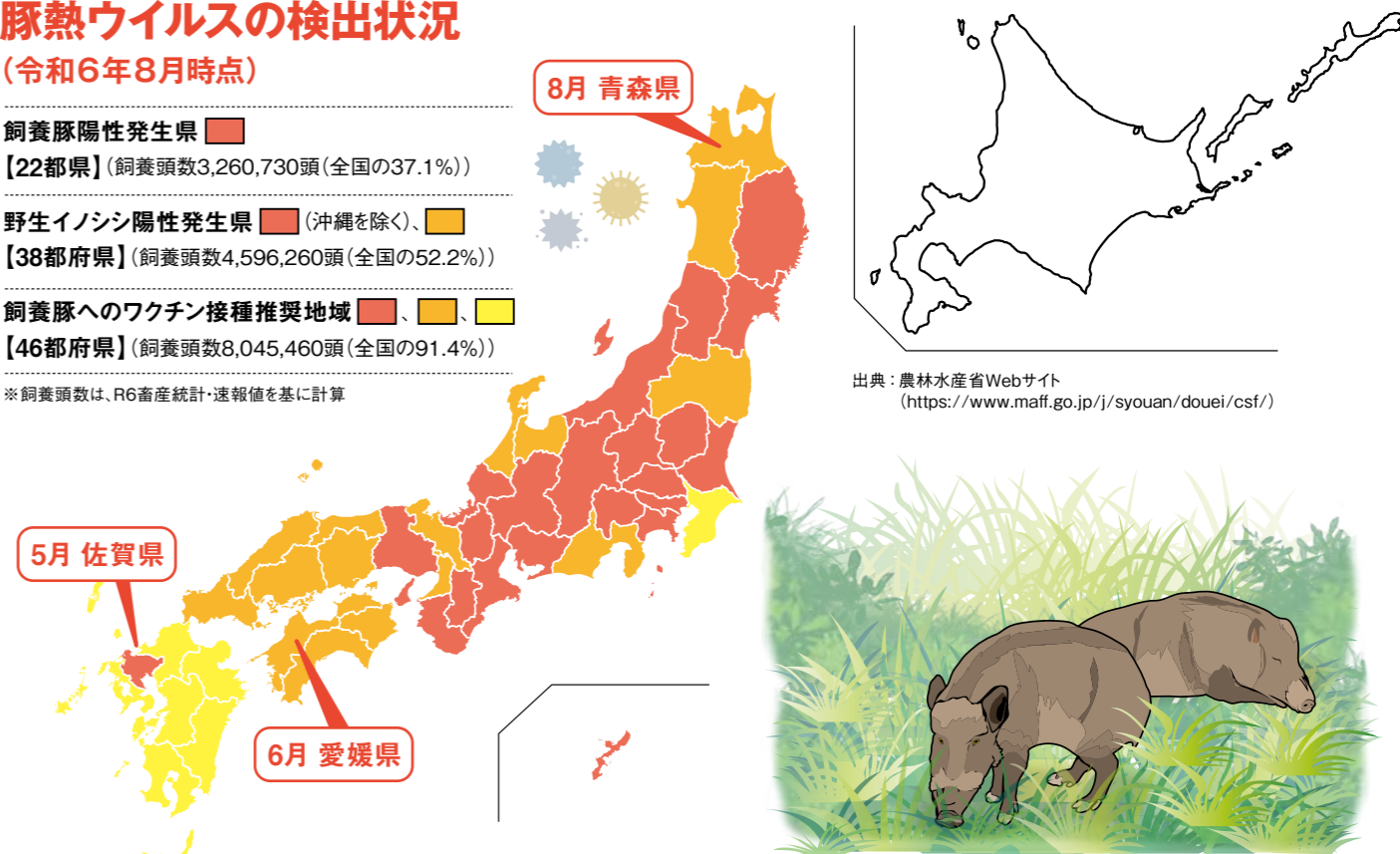
(令和6年8月時点)

飼養豚陽性発生県 ■ [22都県] (飼養頭数3,260,730頭(全国の37.1%))

野生イノシシ陽性発生県 (沖縄を除く) ■ [38都府県] (飼養頭数4,596,260頭(全国の52.2%))

飼養豚へのワクチン接種推奨地域 ■、■、■ [46都府県] (飼養頭数8,045,460頭(全国の91.4%))

※飼養頭数は、R6畜産統計・速報値を基に計算



出典：農林水産省Webサイト
(<https://www.maff.go.jp/j/syoutan/douei/cst/>)

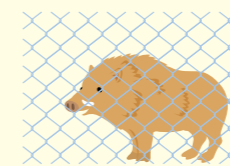


農場に豚熱ウイルスを侵入させないための防疫対策の基本を徹底しましょう！

ウイルスを入れない

野生動物対策

- 衛生管理区域境界部分フェンス設置
- 農場・畜舎周囲の除草・整理整頓
- 畜舎、堆肥舎への防鳥ネット設置
- 畜舎破損箇所の修繕
- 畜舎床面を介した雨水等侵入防止

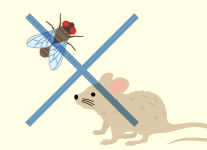


人・車両・資材を介した持ち込み対策

- 人、車両立入り規制、入場履歴記録
- 農場内に人が入る場合は手指消毒、専用衣服・靴の着用
- 農場内に車出入時は動力噴霧器による薬液消毒、資材搬入時消毒
- 外部導入豚は一定期間在来豚と隔離

ウイルスを広げない

- 畜舎毎に専用の手指消毒薬、衣服・長靴を設置・使用、畜舎内外衣服・長靴の交差汚染防止
- 畜舎毎に踏込消毒槽を設置・使用
- 毎日の豚の健康観察と記録
- 畜舎が空になったら必ず清掃・消毒
- ネズミ、ハエの定期的な駆除



ウイルスを増やさない

- 過密をさげ、適切な密度で飼育
- 調子の悪い個体の早期発見・対応
- 暑すぎ、寒すぎ、換気不足、すきま風、これらを防いだ良い環境での飼育
- 畜舎の定期的な掃除



分かりやすく解説した『飼養衛生管理基準ガイドブック(豚、いのしし編)』▶▶▶▶▶



豚肉

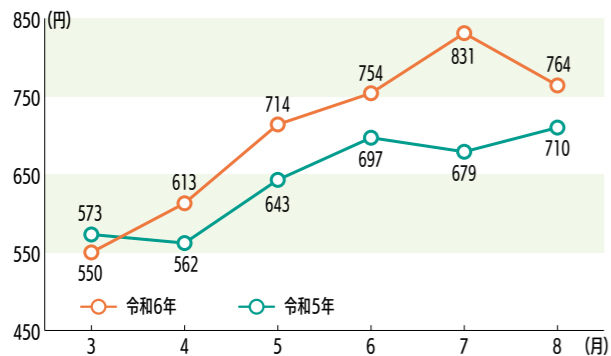
7月の全国豚と畜頭数は、1,311千頭(前年比105.1%)。地域別では、東北地方以外で大きく増えた。

7月の輸入通関実績は、豚肉全体で86.3千t(前年比115.1%、前月比105.6%)。チルドが27.8千t(同91.9%、同92.1%)、フローズンは58.4千t(同130.9%、同113.5%)となった。国別は、チルドではメキシコが増えた。フローズンではスペイン、米国、デンマーク、カナダが増えた。

総務省発表の7月度家計調査報告によると、全国二人以上の1世帯当たり豚肉購入量は1,702g(前年比96.4%)、支出金額が2,724円(同101.0%)となった。

8月の東京市場枝肉卸売価格(速報値;8月31日時点)

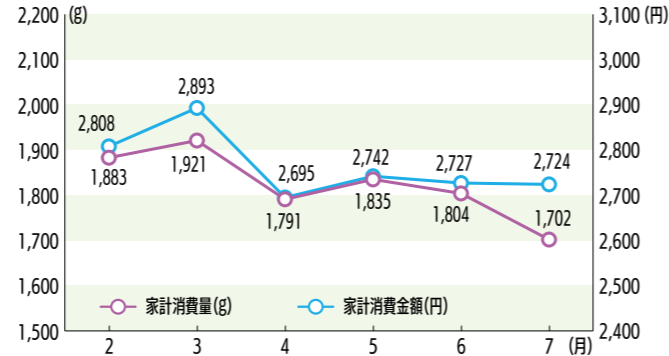
【令和6年10月の相場予想】※東京市場 上物・税込600円 豚枝肉「上」の卸売価格(東京食肉市場)



は、764円/kg(前年比107.6%)と前年を上回った。前月に続き酷暑の影響から肉豚の成育不良で出荷頭数が伸び悩んだことに加え、地震や台風への備蓄需要で月初から中旬にかけて800円/kg前後で推移した。中旬以降は、需要が落ち着いたことに加え、東日本で酷暑が和らぎ出荷頭数が回復基調となったため需給が緩んだ。700円/kgを下回って推移した。

9月は、学校給食の全国的な再開や3連休等での行楽需要など需要増に期待ができるが、全国的に酷暑が和らぐことで肉豚の成育が回復し出荷頭数が前月より増える見込み。需給は緩み、弱含みで推移する見通しだ。

豚枝肉の家計消費量と消費金額(全国1世帯当たり)



牛肉

7月の成牛と畜頭数は、100.1千頭(前年比105.0%)。和牛が51.1千頭(同111.4%)、交雑牛が22.6千頭(同98.3%)、乳牛去勢が11.3千頭(同101.4%)となった。

7月の輸入通関実績は49.3千t(前年比127.5%、前月比103.8%)。チルドが18.9千t(同97.4%、同106.5%)、フローズンが30.5千t(同157.7%、同102.1%)となった。国別では、チルドはオーストラリア、ニュージーランドが増加。フローズンはオーストラリアと米国、ニュージーランド、カナダが増えた。

総務省発表の7月度家計調査報告によると、全国二人以上の1世帯当たり牛肉購入量は411g(前年比86.5%)、

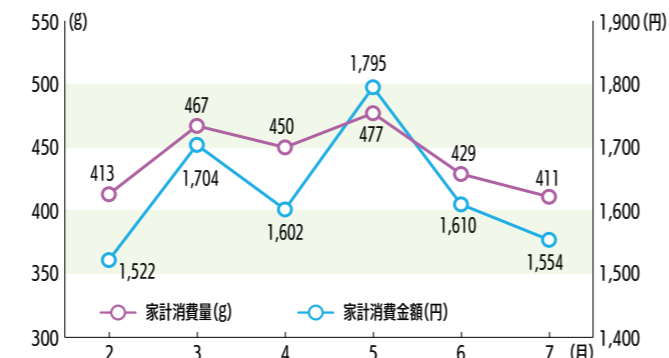
支出金額が1,554円(同94.6%)となった。

8月の東京市場枝肉卸売価格(速報値;8月31日時点)は、和牛去勢A5が2,302円(前年比95.1%)、A4が1,977円(同97.0%)、交雑去勢B3が1,564円(同109.2%)、乳牛去勢B2が1,057円(同136.7%)だった。交雑牛は、和牛代替需要で前年を上回り、前月とほぼ同水準だった。また、乳牛去勢牛は、高騰する輸入品の代替需要が堅調で前年・前月ともに上回った。9月は、行楽需要などにより需要増が想定される。和牛は強含み、交雑牛は横ばいの推移を見込む。乳牛去勢牛は、輸入品の代替需要は継続するが限定的なため、弱含みの見通し。

【令和6年10月の相場予想】※東京市場 税込

◎和牛去勢A4:2,000円 ◎交雑去勢B3:1,550円 ◎乳牛去勢B2:1,000円

牛肉の家計消費量と消費金額(全国1世帯当たり)



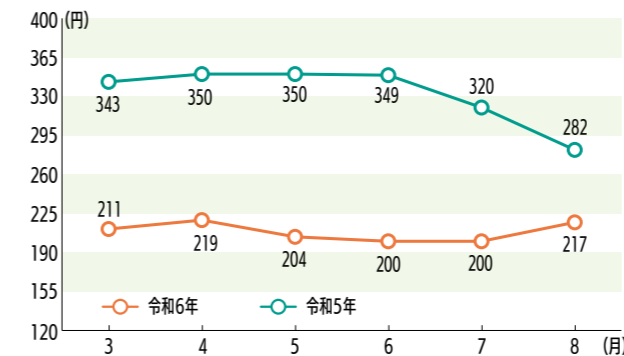
鶏卵

7月の全国の餌付け羽数は、8,414千羽(前年比95.1%)となり、東日本は前年比93.1%と3カ月連続、西日本も前年比97.5%と7カ月連続で前年を下回った。

7月の鶏卵の一人当たり家計消費量は837g(同102.9%)と、8カ月連続で前年を上った。2022年の水準までは回復していないが家計消費の持ち直しに期待したい。

8月の東京相場の月間平均はMサイズ217円/kg(前年比-65円/kg、前月比+17円/kg)となった。供給面においては、成鶏更新・空舎延長事業(2024年5月13日から6月24日まで発動)による生産調整、猛暑による産卵率と個卵重の低下などの影響を受け、生産量および大玉の減少傾向が継続している。

鶏卵取引価格・全農たまごMサイズ基準値(東京)



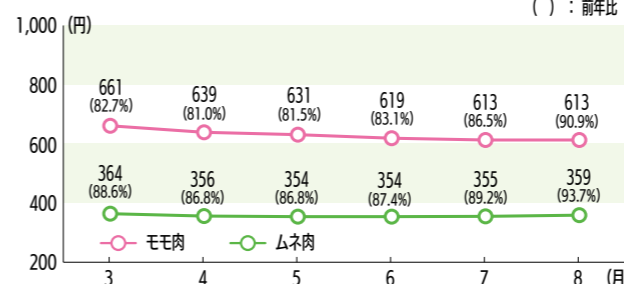
鶏肉

生産・処理動向調査によると7月の推計実績は処理羽数60,828千羽(前年比103.8%)、処理重量182.6千t(同104.2%)となった。前月時点の計画値より処理羽数は0.1%の下方修正となり、処理重量は1.2%上方修正された。重量ベースでは生鳥の増体性能や飼料の改良が進んだことによる餌食いの向上により処理重量が増加したと考える。

7月の鶏肉(原料肉)の輸入量は前月から+2.4千tの51.8千t、国別ではブラジルが前月+0.3千tの35.5千t、タイが+2.0千tの15.5千tとなった。

7月末時点推定期末在庫では国産35.5千t(前年比115.9%・前月差-1.2千t)、輸入品133.6千t(同103.1%・同+0.5千t)と、合計で169.1千t(同105.5%・同-0.7千t)となった。

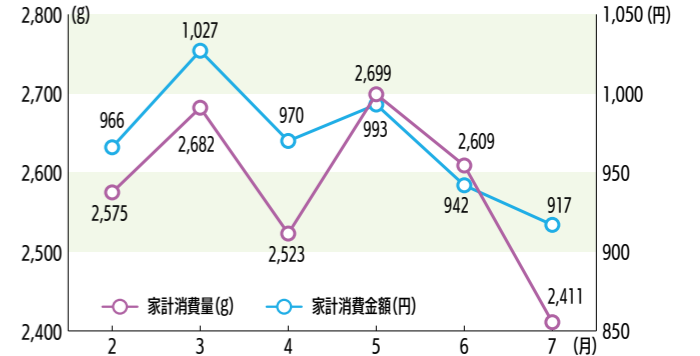
【令和6年10月の相場予想】◎モモ肉:625円 ◎ムネ肉:370円
ブロイラー(正肉)市況の推移



需要面においては、量販筋ではお盆と台風特需後も定番の数量が増加傾向にある。業務・外食筋では月見プロモーションに向けて中玉の引き合いが強まっている。加工筋では、ポイル用小玉需要から堅調な推移となっている。大玉から小玉にかけて需要が供給を上回っていることから、8月20日、23日、27日、30日、9月3日、10日に上伸の展開となった。

今後について、供給面は9月下旬ごろに生産調整からの復帰が見込まれるものの、残暑の影響により復帰鶏群の生み出しの遅れや産卵率の低下が続くと考えられる。需要面は、秋冬メニュー開始といった需要の高まりが期待される。需要に対して供給不足が継続する可能性が高く、今後の鶏卵相場は上げ基調またはサイズ間調整で推移することが予想される。

鶏卵の家計消費量と消費金額(全国1世帯当たり)

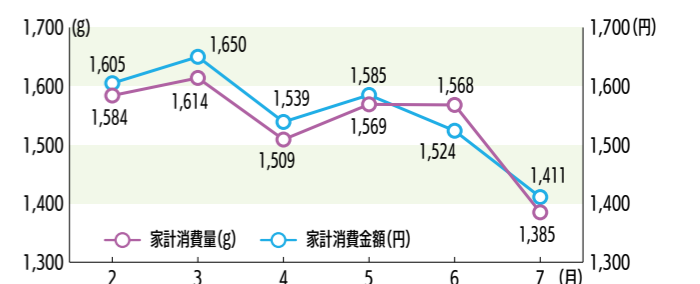


8月の月平均相場は、モモ肉613円/kg(前月差±0円)・ムネ肉359円/kg(同+4円)。正肉合計では972円/2kgと前月を4円上回り、前年同月を85円下回った。モモ肉相場は月初612円、月末は621円となり、前年の相場を下回った。

生産は、各産地の処理羽数増や増体向上等から、全国的に順調に推移した。モモ肉は年末用の確保があるものの生鮮で売り切る動きが強く、余剰在庫を持たないように販促をかけているようだ。ムネ肉は輸入食品全般の価格高騰等から加工筋向けの引き合いが強まっており、量販店での動きも活発化している。

9月は、豚肉から鶏肉への需要シフトが進む予想に加え、学校給食が再開することから順調に推移する見込み。モモ肉相場はやや上げの月平均615円、ムネ肉相場は若干上げの月平均365円と予測。例年通り年末に向け鶏肉相場は上昇傾向に推移していくと考える。

ブロイラーの家計消費量と消費金額(全国1世帯当たり)



ちくさんクラブ21 人気記事ランキング

150号 読者アンケート編

- 1位** **きてみて!うちの学校**
宮崎県立高鍋農業高等学校
 実際の農場経営と同規模で質の高い畜産を学ぼうと、地元宮崎県はもとより県外からも学生たちが集う宮崎県立高鍋農業高等学校。生徒の皆さんの頑張りを取材しました!
- 2位** **教えて!中研(肉牛)**
生産性向上のための技術紹介 肉質改善サプリメント「やわらか3Q」の黒毛和種繁殖経産牛に対する効果
 肉質改善サプリメント「やわらか3Q」についての技術記事です。研究所での実証データを基に「やわらか3Q」の効果を解説しています。
- 3位** **JACCネット**
和牛枝肉共励会・子牛市場情報
 令和6年5月度の子牛市場のランキング表を掲載しています。
- 4位** **ET研便り**
体外受精の生産技術と受胎率
 ET技術「OPU-IVP(経膈採卵による体外受精卵生産)」の技術情報とメリットを解説。繁殖技術のトレンドとしてチェックしてみるのはいかがでしょうか?

- 5位** **一生懸命**
三重県/上田畜産
 三重県内統一ブランド豚「伊勢うまし豚」を専門で生産する上田畜産様を取材。関係者と協力しながら生産性向上にチャレンジする取り組みをまとめました。
- 6位** **読者の広場**
 毎号、読者からの感想や意見に編集部が答えています。皆様の意見は編集部で毎回すべて読んでいます。要望は可能な限り紙面に反映するようにいたします!
- 7位** **NEWS**
PICS② PICSを活用して課題の把握に努め、今後の経営方針を検討する
 全農が提供する養豚生産管理システム「Web PICS」。日頃記録している成績データを基に農場の経営分析を行う手法を解説しました。
- 8位** **海外レポート**
デンマークにおける養豚情勢とアニマルウェルフェアへの対応
 1母豚当たりの離乳頭数が世界1位のデンマークは、アニマルウェルフェア(AW)の取り組みが盛んです。デンマークの養豚情勢、AWへの対応状況や課題などを紹介しました。

過去記事検索で見ると、もう読んだ? WEB人気ランキング編

- 1位** **教えて!中研(養牛)**
梅雨前から始める夏場対策: 夏が来る前にサンバエ対策を! (2022年4月掲載)
 2年前の記事にもかかわらず、長い間人気です。昨年は猛暑の影響でサンバエの発生が活発でした。疾病の蔓延や家畜のストレスになるサンバエの対策を早めに!
- 2位** **教えて!中研(養鶏)**
まだ間に合う!鶏舎の夏場対策 (2022年6月掲載)
 夏場の暑熱対策は多くの方が悩むポイント。すぐに行える対策のポイントを紹介しました。日頃の対策の見直し等に向け、参考にしてください。
- 3位** **Dr.ジーアのMyカルテ**
牛サルモネラ症の対策について (2022年8月掲載)
 近年、農場で多発する牛サルモネラ症は、農場で蔓延すると農場経営に大きな被害が出ます。主な症状と農場での対策を確認し、家畜疾病対策を徹底しましょう。
- 4位** **WEB限定記事**
もう読んだ?ちくさんクラブ暑熱対策・資材記事まとめ!
 (2024年8月WEB限定掲載)
 8月のWEB限定記事として、特集した暑熱対策・資材の特集記事です。

過去記事は、WEB版から閲覧できます。
読み逃してしまった方は、ぜひWEBでご覧ください。

- 5位** **教えて!中研(養豚)**
暑さに弱い豚を理解し、早め早めの暑熱対策を!
 (2023年4月掲載)
 夏場対策を始めるにあたり、豚からはさまざまなシグナルが出ています。この記事では、夏場対策を意識し始める梅雨時期からの対策例を紹介しました。
- 6位** **Dr.ジーアのMyカルテ**
夏場の鶏の腸炎対策 (2023年7月掲載)
 レイヤーとブロイラーの農場双方に甚大な被害をもたらす壊死性腸炎。本記事では、腸炎対策を事例を交えながら、解説しました。
- 7位** **配合飼料安定基金**
概要と現在の情勢を解説 (2023年7月掲載)
 全農基金担当者が「分かりやすく」をテーマにまとめました。10月からは基金契約を考える時期ですので改めて内容を把握しましょう!
- 8位** **教えて!中研(養牛)**
夏が来る前にサンバエ対策を!
 (2023年4月掲載)
 毎年、人と牛を悩ませるサンバエ。成虫が目立ちますが、根本対策には幼虫や蛹の駆除も重要です。

読者の広場

「読者の広場」では前号アンケートで読者の皆さまから届いたご要望やお悩みについて、編集部がお答えしております。ご回答いただいたアンケートは、今後の誌面制作の際に参考にさせていただきます。
WEBサイト版ちくさんクラブ21では、これまでに編集部がお答えした内容もお読みいただけます。ぜひご活用ください!

読者から一言

- 「きてみて!うちの学校」を毎回楽しみにしています。まだまだたくさん頑張っている高校生たちがいると思うのでこれからも続けてほしいです。
 (宮城県・肉牛繁殖 もあいさん)
- 私たちが毎回、高校生の頑張りを取材するのが楽しみです!今後も続けていきます。
- プレゼントの広島因島のはっさくシャーベットがおいしそう。実家が福山市なのでいいなあと思いました。
 (長崎県・肉牛肥育 つまようじさん)
- 実は、毎回悩むプレゼント選び。おいしく食べてもらえるとうれしいです。プレゼントに対するコメントもウェルカムです。
- 楽しいテーマが多いので毎月楽しみにしています。
 (岡山県・牛 匿名さん)
- 率直に、うれしいコメントです。。。涙

※お寄せいただいたご意見・ご要望につきましては、誌面制作の参考とさせていただきます。
「読者の広場」には締め切り日までにいただいた分を掲載しています。

編集部からのお願い

- いただいたアンケートは編集部にてすべて読ませていただいております。届いたご質問・ご要望には可能な限りお答えし、紙面に反映するようにいたします。
- ぜひ、日ごろの営農でのささいな疑問、悩み、知りたいことを読者アンケートにてお寄せください!

※締め切りの過ぎたアンケートもご意見・ご質問等を読ませていただきますので、ぜひご回答ください。

表紙写真 (南)東北ファームと関係者の皆様、(南)川洲牧場の川洲貴矢さん、鹿児島県立鹿屋農業高等学校の皆様
 編集委員 佐藤哲誠/澤明/森本哲生/嶋亮一/児玉博士/村越勇人/小野淳也/笹渡翔/皆川修人/藤田瑠美/高柳真子/泉瑞枝/岩橋かをり
 発行元 JA全農畜産生産部推進・商品開発課 東京都千代田区大手町1-3-1 TEL03-6271-8236 FAX03-5218-2526

JA全農が
お届けする

畜産情報WEBメディアが リニューアルしました!



2024年4月に、「ちくさんクラブ21」と畜産総合メディア「JACCネット」のホームページリニューアルに加え、LINE公式アカウントを開設しました。使いやすくなったWEBメディアを通じて、畜産の“今”をタイムリーにお届けします。ぜひご利用ください。

ちくさんクラブ21 & JACCネット LINE公式アカウント開設!!

友だち登録はこちらから!



最新号をいつでも
読めます!



ワンクリックで
アンケートに
簡単アクセス!



畜種・
キーワードなど
知りたい記事を
検索できる!



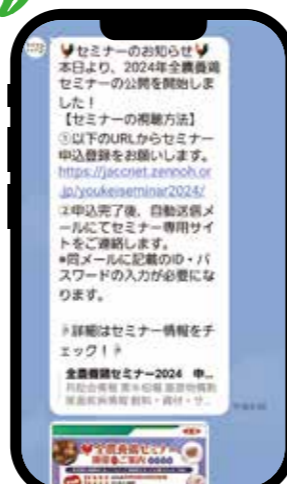
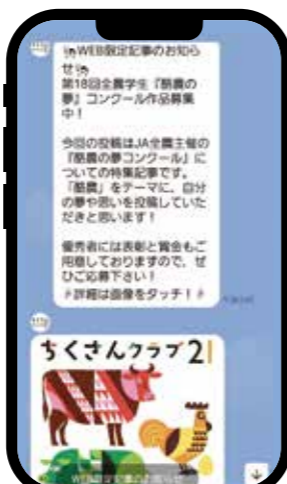
あなたの
“知りたい”
に答えます

畜産物相場・
飼料情勢など
畜産情報を
毎月発信して
います!

WEB限定記事のお知らせ

LINEではWEB限定記事の公開と
セミナー情報をお知らせしています

ちくさんクラブ21のホームページでは、WEB限定公開の記事を定期的に配信しています。WEB限定記事を含む全記事を無料で読みいただけます。ぜひご覧ください。



プレゼント

present

QRコード(二次元コード)
での応募はこちらから



締め切り

2024年
11月15日(金)
到着分まで

本誌に対するご意見や、読者アンケートにお答えをいただいた方の中から、抽選で全国各地の名産品等をプレゼントします。申し込みはとじ込みハガキ・QRコードをご利用ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

P.3「一生懸命」で紹介
東北ファーム様より

こだわりたまごのドーナツ
7個入り(7種各1個)

20
抽選名様!!

当選確率アップ!



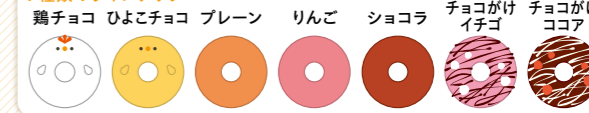
青森県三沢市
「三沢ブランド特産品」認定!
東北ファームの
ブランド卵「味乙女」を
ふんだんに使用したドーナツ



卵の風味が
濃いドヨ

ふわわり
しっとりコケ

7種類のラインナップ



卵にトコトコこだわった焼きドーナツ!

シンプルに卵の風味が感じられるのはもちろん、ニワトリやヒヨコの見た目がチョーカワイイ! 食べておいしい、見て楽しい! 卵屋さん作ったこだわり卵のドーナツです!

東北ファームのこだわり卵「味乙女」の直売店

こだわりたまごのドーナツは、あじおとめショップのみの販売です。あじおとめショップは、こだわり卵「味乙女」や関連商品、スイーツ、おもしろ雑貨が購入できる東北ファームの直売店です。今回当選された方もはずれた方も、青森にお越しの際は、ぜひ店舗にお立ち寄りください~

TAMAGO HOUSE
AJIOTOME SHOP
岡三沢店 <三沢市内、桂温泉近く>

店舗情報はこちら



住所
青森県三沢市岡三沢1-1-84
営業時間
9:00~18:00
定休日
木曜定休

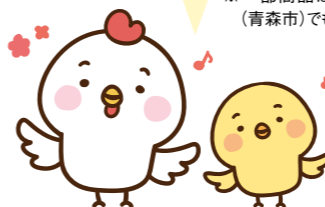
青森に
あるピヨ

TOHOKU FARM
AJIOTOME SHOP
あおり駅前店 <「新青森駅」ではなく「青森駅」>

店舗情報はこちら



住所
青森県青森市柳川1-1-5 & LOVINA1階
営業時間
10:00~20:00
定休日
休日は&LOVINAに準ずる



※一部商品はA-FACTORY
(青森市)でも購入できます。

ちくさんクラブ21及びハガキ・メール、アンケートの個人情報保護法対応

ご提供いただいた個人情報は①誌面企画への反映、②質問に対する回答発送、③意見に対する確認作業、④プレゼント発送に利用いたします。また、この情報はJA全農からの情報提供を目的として利用させていただくこともあります。個人情報はJA全農個人情報保護方針に基づき厳重に管理いたします。詳しくは「JA全農ホームページ」にあります個人情報に関するご案内をご覧ください。https://www.zennoh.or.jp